

令和7年度 行政評価「施策評価表」

長野県千曲市

目 次

物価高騰に対する支援	
物価高騰生活応援事業【総務課】	1
令和6年度千曲市低所得者支援及び定額減税補足給付金（調整給付）事業【税務課】	2
物価高騰対策重点支援給付金給付事業【福祉課】	3
物価高騰対策重点支援給付金給付事業（こども加算分）【こども未来課】	5
基本目標1 災害に強く安全で安心な暮らしができるまち	
産業連携道路ネットワーク基盤整備事業【道路河川課】	7
屋代地区スマートインターチェンジ整備事業【道路河川課・公民共創推進室】	9
地域防災拠点・道の駅整備事業【公民共創推進室】	12
地域開発推進事業【公民共創推進室】	13
長野電鉄屋代線跡地整備事業【道路河川課】	14
防災対策事業【危機管理防災課】	15
住宅・建築物耐震改修促進事業【建築課】	16
デマンド型乗合タクシー実証運行事業【総合政策課】	17
基本目標2 千曲っ子が元気に育つ生涯学びのまち	
こども家庭センター事業【こども未来課】	18
新生児聴覚検査支援事業【健康推進課】	19
子育て世帯訪問支援事業【こども未来課】	20
保育所施設整備事業（屋代保育園）【保育課】	21
保育所施設整備事業（稻荷山保育園）【保育課】	22
保育所施設整備事業（戸倉保育園）【保育課】	23
保育所施設整備事業（五加保育園）【保育課】	24
学校給食食材高騰分支援事業【学校給食センター】	25
放課後児童クラブ分室設置事業【こども未来課】	26
赤ちゃん子育て支援事業【こども未来課】	27
15の春応援事業【こども未来課】	28
小中学校施設整備事業【教育総務課】	29
千曲川ハーフマラソン事業【スポーツ課】	30
国スポ・全障スポ開催準備事業【国スポ・全障スポ推進室】	31
基本目標3 支え合いかかわり合い、誰もが健康で活躍するまち	
胃内視鏡検診事業【健康推進課】	32
ペアレントトレーニング事業【福祉課】	33
戸倉体育館整備事業【公民共創推進室】	34
福祉医療費給付事業【健康推進課】	35
生活支援体制整備事業【高齢福祉課】	36

基本目標4 千曲の特色を磨き上げ、賑わいと活力あるまち	
サテライトオフィス等開設支援事業【商工課】	37
シェアサイクル運営促進事業【観光課】	38
シティプロモーション推進事業【秘書広報課】	39
自動化・省力化等生産性向上事業【商工課】	40
日本遺産推進事業【観光課】	41
新規就農支援事業【農林課】	43
移住定住促進事業【ふるさと振興課】	44
ワイン振興事業【農林課】	46
基本目標5 輝かしい歴史文化の伝承と、新たな文化を創造するまち	
文化会館施設整備事業【文化課】	47
重要伝統的建造物群保存推進事業【歴史文化財センター】	48
武水別神社神宮松田邸管理運営事業【歴史文化財センター】	49
名勝姨捨整備事業【歴史文化財センター】	50
国際都市交流事業【生涯学習課】	51
基本目標6 未来に繋げる自然と共生するまち	
公園施設整備事業【都市計画課】	52
太陽光発電等設置補助事業【環境課】	53
白鳥園多目的広場整備事業【市民生活課】	54
かわまちづくり事業【都市計画課】	55
森林環境譲与税事業【農林課】	56
棚田保全事業【農林課】	57
水道事業の広域化・広域連携事業【上下水道課】	58
基本目標7 一人ひとりが輝く協働で創るまち	
公共施設の更新・除却・長寿命化事業【財政課】	59
図書館システム更新事業【生涯学習課】	60
ふるさと千曲市応援寄附金事業【ふるさと振興課】	61
DX推進アドバイザー活用事業【情報政策課】	63
住民参加型システム「ポリネコ！Chikuma」実施事業【秘書広報課】	64
地域クラブ活動体制整備事業【教育総務課】	65
男女共同参画事業【人権・男女共同参画課】	66
個人番号カード交付事業【市民課】	68
コンビニ証明書交付事業【市民課】	69
上山田戸倉出張所窓口業務【市民課上山田戸倉出張所】	70

物価高騰に対する支援

事業名	物価高騰生活応援事業	担当課名	総務課
-----	------------	------	-----

事業費		主要な施策の成果等
決算額(円)		【事業目的】 物価高騰の影響を受けている市民生活を支援するため、市内の取り扱い店舗で利用できる「第3弾ちくま生活応援券」を交付した。(1人2,000円分)
136,057,830		
節別内訳(円)		【実績】
報酬		○応援券交付期間 令和6年7月8日～令和6年8月30日
給料、職員手当等	2,252,000	○応援券使用有効期間 令和6年8月1日～令和6年9月30日
報償費		○応援券交付対象 (基準日：令和6年5月1日) 市民 58,950人 (24,707世帯) 妊婦 233人
旅費		○市内取扱店舗数 356店舗
需用費		○応援券利用実績 総発行枚数 118,366枚 利用済枚数 114,672枚 利用率 96.88%
役務費	13,325,830	
委託料	5,808,000	
使用料及び 賃借料		【成果等】
工事請負費		・食料品や生活用品等を取り扱う小売事業者の利用が多く(約78%)、多くの市民の生活支援につながった。
原材料費		・地域経済の活性化に一定の効果があった。 (地域経済流通額 114,672,000円)
公有財産 購入費		・一部配送方法の見直し(施設あて一括送付など)を実施したが、前回よりも割引率が少なかったため、配送コストは増加した。
備品購入費		
負担金、補助 及び交付金	114,672,000	
扶助費		【今後の方向性】
補償、補填 及び賠償金		・引き続き配送方法の見直しを行い、配送コストの削減に努める。
公課費		・事務委託内容の見直し(問い合わせ窓口の削減など)により委託費の削減に努める。
財源内訳(円)		
国庫支出金	133,560,000	
県支出金		
地方債		
その他		
一般財源	2,497,830	
【会計区分】 一般会計		

物価高騰に対する支援

事業名	令和6年度 千曲市低所得者支援及び定額減税補足給付金（調整給付）給付事業	担当課名	税務課
-----	--------------------------------------	------	-----

事業費	主要な施策の成果等																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">決算額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">513,179,987</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">節別内訳(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報酬</td> <td>729,386</td> </tr> <tr> <td>給料、職員手当等</td> <td>4,504,000</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>14,500</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>209,899</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>4,496,000</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>21,426,202</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原材料費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>公有財産購入費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>扶助費</td> <td>481,800,000</td> </tr> <tr> <td>補償、補填及び賠償金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>公課費</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	決算額(円)		513,179,987		節別内訳(円)		報酬	729,386	給料、職員手当等	4,504,000	報償費		旅費	14,500	需用費	209,899	役務費	4,496,000	委託料	21,426,202	使用料及び賃借料		工事請負費		原材料費		公有財産購入費		備品購入費		負担金、補助及び交付金		扶助費	481,800,000	補償、補填及び賠償金		公課費		<p>【事業目的】 ○国のデフレ完全脱却のための総合経済対策における物価高への支援の一環として、「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用し、令和6年度の定額減税対象者で、定額減税前の税額が定額減税可能額に満たない市民を対象として差額を給付する事業を実施した。</p> <p>【実績】 ○対象者数 11,774件に通知発送 ○総受付件数 11,465件 ※内訳：振込数 11,450件、辞退 11件、不支給決定 4件 ○振込件数 11,450件、総支給額 481,800,000円 支給率 97.2%</p> <p>【成果等】 ○マイナポータルへの公金受取口座の届出者に対し提出書類不要振込みの「お知らせ通知」方式とし、ペーパレス化により事務量が約6割軽減された。なお、振込みエラーは、0.3% (22件/6,725件)と少なく迅速支給に繋がった。 ○「支給確認書」の未提出者に対し、11/15の締め切り1ヶ月前に再送付を行い、給付率を上げることに繋がっている。 ○税務課対応業務、外部委託対応業務内容を明確にし分業を行うことにより税務課及び担当者の負担の軽減につながっている。なお、各部門とは毎日連携を取り業務を遂行している。</p> <p>【今後の方向性】 ○令和7年度に実施される不足額給付については令和6年度同様に対応したい。 ○年間何本も給付金支給され、それぞれの担当課で事務対応を行っているが、各給付金は関連性があるものが多く、制度説明や給付を速やかに行う上でも、給付金担当課・係を設置し事務を行う必要性を感じる。</p> <p>【会計区分】 一般会計</p>
決算額(円)																																							
513,179,987																																							
節別内訳(円)																																							
報酬	729,386																																						
給料、職員手当等	4,504,000																																						
報償費																																							
旅費	14,500																																						
需用費	209,899																																						
役務費	4,496,000																																						
委託料	21,426,202																																						
使用料及び賃借料																																							
工事請負費																																							
原材料費																																							
公有財産購入費																																							
備品購入費																																							
負担金、補助及び交付金																																							
扶助費	481,800,000																																						
補償、補填及び賠償金																																							
公課費																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">財源内訳(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国庫支出金</td> <td>507,449,835</td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>5,730,152</td> </tr> </tbody> </table>	財源内訳(円)		国庫支出金	507,449,835	県支出金		地方債		その他		一般財源	5,730,152																											
財源内訳(円)																																							
国庫支出金	507,449,835																																						
県支出金																																							
地方債																																							
その他																																							
一般財源	5,730,152																																						

物価高騰に対する支援

事業名	令和5年度物価高騰対策重点支援給付金給付事業	担当課名	福祉課
-----	------------------------	------	-----

事業費		主要な施策の成果等																		
決算額(円)		【事業目的】																		
136,919,598		国のデフレ完全脱却のための総合経済対策として住民税非課税世帯には該当しないが、個人住民税の定額減税の対象となるない令和5年度住民税均等割のみ課税される世帯の負担軽減措置として1世帯あたり10万円を支給する。																		
節別内訳(円)		【実績】																		
報酬	206,040	事業期間 令和6年2月1日～令和6年5月31日																		
給料、職員手当等	1,126,000	申請期間 令和6年4月1日～令和6年5月17日																		
報償費		給付実績																		
旅費		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>確認書</th> <th>お知らせ通知</th> <th>不支給</th> <th>辞退</th> <th>支給件数</th> <th>支給額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象世帯</td> <td>116</td> <td>1,263</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1,352</td> <td>135,200,000</td> </tr> </tbody> </table>						確認書	お知らせ通知	不支給	辞退	支給件数	支給額(円)	対象世帯	116	1,263	0	0	1,352	135,200,000
	確認書	お知らせ通知	不支給	辞退	支給件数	支給額(円)														
対象世帯	116	1,263	0	0	1,352	135,200,000														
需用費	46,404	【成果等】																		
役務費	158,554	○エネルギー・食料品等価格高騰の影響を受けている低所得者世帯（住民税均等割のみ課税世帯）に対して、経済的支援が図られた。																		
委託料	182,600	○対象となる世帯のうち過去に給付金の支給を受けている世帯には、提出書類不要のお知らせ通知方式による支給を実施し、迅速に支給することができた。																		
使用料及び賃借料		【今後の方向性】																		
工事請負費		国等の低所得者への給付金を実施する場合は、必要な準備が整い次第、速やかに支給できるように対応していきたい。																		
原材料費																				
公有財産購入費																				
備品購入費																				
負担金、補助及び交付金	135,200,000																			
扶助費																				
補償、補填及び賠償金																				
公課費																				
財源内訳(円)																				
国庫支出金	135,793,598																			
県支出金																				
地方債																				
その他																				
一般財源	1,126,000																			
【会計区分】 一般会計																				

物価高騰に対する支援

事業名	令和6年度物価高騰対策重点支援給付金給付事業	担当課名	福祉課
-----	------------------------	------	-----

事業費		主要な施策の成果等																			
決算額(円)		【事業目的】																			
100,026,499		国のデフレ完全脱却のための総合経済対策として令和6年度新たに住民税非課税または住民税均等割のみ課税(所得税非課税)となった世帯の負担軽減措置として、1世帯あたり10万円を支給する。																			
節別内訳(円)		【実績】																			
報酬	351,480	事業期間 令和6年6月14日～令和6年11月30日																			
給料、職員手当等	1,126,000	申請期間 令和6年7月22日～令和6年9月30日																			
報償費		給付実績																			
旅費		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>確認書</th> <th>お知らせ通知</th> <th>支給件数</th> <th>不支給</th> <th>辞退</th> <th>支給額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象世帯</td> <td>1,051</td> <td>—</td> <td>960</td> <td>6</td> <td>3</td> <td>96,000,000</td> </tr> </tbody> </table>							確認書	お知らせ通知	支給件数	不支給	辞退	支給額(円)	対象世帯	1,051	—	960	6	3	96,000,000
	確認書	お知らせ通知	支給件数	不支給	辞退	支給額(円)															
対象世帯	1,051	—	960	6	3	96,000,000															
需用費	115,697	【成果等】																			
役務費	286,892	エネルギー・食料品等価格高騰の影響を受けている低所得者世帯(令和6年度新たに住民税非課税または住民税均等割のみ課税(所得税非課税)となった世帯)に対して、経済的支援が図られた。																			
委託料	2,146,430	【今後の方向性】																			
使用料及び賃借料		国等の低所得者への給付金を実施する場合は、必要な準備が整い次第、速やかに支給できるように対応していきたい。																			
工事請負費																					
原材料費																					
公有財産購入費																					
備品購入費																					
負担金、補助及び交付金	96,000,000																				
扶助費																					
補償、補填及び賠償金																					
公課費																					
財源内訳(円)																					
国庫支出金	98,295,243																				
県支出金																					
地方債																					
その他																					
一般財源	1,731,256																				
【会計区分】 一般会計																					

物価高騰に対する支援

事業名	令和5年度物価高騰対策重点支援給付金給付事業（こども加算分）	担当課名	こども未来課
-----	--------------------------------	------	--------

事業費		主要な施策の成果等
決算額(円)		【事業目的】 電力、ガス、食料品などの物価高騰の影響を特に受けている低所得の子育て世帯（住民税非課税世帯等）に、負担軽減措置として、児童1人あたり50,000円を給付する。
30,568,126		対象者は、令和5年度電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金（1世帯あたり7万円）または住民税均等割のみ課税世帯への給付金（10万円）を受給した世帯主で、令和5年12月1日時点で千曲市に住民登録があり、18歳以下の児童と同じ世帯に住んでいる方。
節別内訳(円)		国の「デフレ完全脱却のための総合経済対策」に基づく低所得者支援の事業であり、財源は物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（10/10）。
報酬		
給料、職員手当等	1,126,000	
報償費		
旅費		
需用費		
役務費	42,126	
委託料		
使用料及び賃借料		
工事請負費		
原材料費		
公有財産購入費		
備品購入費		
負担金、補助及び交付金	29,400,000	
扶助費		
補償、補填及び賠償金		
公課費		
財源内訳(円)		【実績】 給付実績 344世帯 588人×50,000円=29,400,000円
国庫支出金	29,442,126	
県支出金		
地方債		
その他		
一般財源	1,126,000	
【会計区分】 一般会計		【成果等】 物価高騰により生活費等に負担感が生じている低所得の子育て世帯に対して、経済的支援が図られた。
		【今後の方向性】 令和7年度も、令和6年11月22日に閣議決定された「国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策」により、住民税非課税世帯の児童1人あたり20,000円の給付を行う。

物価高騰に対する支援

事業名	令和6年度物価高騰対策重点支援給付金給付事業（こども加算分）	担当課名	こども未来課
-----	--------------------------------	------	--------

事業費		主要な施策の成果等
決算額(円)		【事業目的】
7,207,598		電力、ガス、食料品などの物価高騰の影響を特に受けている低所得の子育て世帯（令和6年度から新たに住民税非課税となった世帯等）に、負担軽減措置として、児童1人あたり50,000円を給付する。
節別内訳(円)		対象者は、令和6年度課税分から新たに個人住民税（市・県民税）が非課税または均等割のみ課税になった世帯への給付金（1世帯あたり10万円）の対象になった世帯主で、令和6年6月3日時点で千曲市に住民登録があり、18歳以下の児童を養育している方。
報酬		国の「デフレ完全脱却のための総合経済対策」に基づく低所得者支援の事業であり、財源は物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（10/10）。
給料、職員手当等	1,126,000	
報償費		
旅費		
需用費		
役務費	13,298	
委託料	168,300	
使用料及び 賃借料		
工事請負費		
原材料費		
公有財産 購入費		
備品購入費		
負担金、補助 及び交付金	5,900,000	
扶助費		
補償、補填 及び賠償金		物価高騰により生活費等に負担感が生じている低所得の子育て世帯に対して、経済的支援が図られた。
公課費		
財源内訳(円)		【実績】
国庫支出金	6,081,598	給付実績 70世帯 118人×50,000円=5,900,000円
県支出金		
地方債		
その他		
一般財源	1,126,000	
【会計区分】 一般会計		【成果等】
		【今後の方向性】
		令和7年度も、令和6年11月22日に閣議決定された「国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策」により、住民税非課税世帯の児童1人あたり20,000円の給付を行う。

基本目標1 災害に強く安全で安心な暮らしができるまち

事業名	産業連携道路ネットワーク基盤整備事業	担当課名	道路河川課
-----	--------------------	------	-------

事業費		主要な施策の成果等
決算額(円)		【事業目的】
381,487,596		○人・モノ・文化を波及・循環させることを目的とする「産業連携道路ネットワーク構想」の実現を目指すための東西連携軸となる市の重要路線となる幹線道路の整備。
報酬	0	・市道一重山2号線整備事業 (L=1.40km)
給料、職員手当等	8,445,000	・打沢屋代間の一重山を越えるルートの早期事業化 (L=1.39km)
報償費	0	・市道打沢新道整備事業 (L=0.47km)
旅費	0	
需用費	0	
役務費	0	
委託料	102,498,000	【実績】
使用料及び賃借料	0	○令和5年度繰越事業
工事請負費	38,531,000	・市道一重山2号線整備事業 用地取得 16件 (23,032,177円) 物件補償 4件 (5,481,419円) 軟弱地盤対策計画業務委託 (1,540,000円) 地質調査業務委託 (3,025,000円) 埋蔵文化財発掘調査支援業務委託 (90,200,000円) 軟弱地盤対策盛土工事 (33,671,000円) 畔・水路設置工事 (精算 4,860,000円) 【市単】
原材料費	0	
公有財産購入費	26,532,177	○令和6年度事業
備品購入費	0	・市道一重山2号線整備事業 用地取得 4件 【R7～繰越】 (前払金: 3,500,000円) 物件補償 2件 【R7～繰越】 (前払金: 200,000,000円) 軟弱地盤対策盛土工事 【R7～繰越】
負担金、補助及び交付金	0	・市道雨宮本線整備事業 測量設計業務委託 (1,067,000円)
扶助費	0	・打沢屋代間の一重山を越えるルートの早期事業化 整備効果検討業務委託 (341,000円) 鉄道協議資料作成業務委託 (3,146,000円) しなの鉄道架線等測量業務委託 (1,903,000円)
補償、補填及び賠償金	205,481,419	・市道打沢新道整備事業 交通量調査業務委託 (495,000円) 測量設計業務委託 【R7～繰越】 交差点物件等補償調査業務委託 2件 (781,000円) 整備事業に関するオープンハウス形式説明会 (R6.11.22～23) 整備事業設計説明会 (R7.3.18)
公課費	0	
財源内訳(円)		【会計区分】 一般会計
国庫支出金	180,057,000	【成果等】
県支出金	0	○市道一重山2号線について、用地取得率では 22,725 m ² のうち 18,198 m ² で 80%が取得済みとなった。
地方債	161,800,000	○打沢屋代間の一重山を越えるルートについては、道路線形計画等に必要な調査を実施した。また、千曲建設事務所及
その他	0	
一般財源	39,630,596	

事業名	産業連携道路ネットワーク基盤整備事業	担当課名	道路河川課
-----	--------------------	------	-------

	<p>びしなの鉄道(株)と協議を実施した。</p> <p>○市道打沢新道線について、地権者及び地元関係者を対象とした説明会を実施し道路線形について概ねの理解を得ることができた。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>○市道一重山2号線については、令和10年度の完了を目指すとともに、事業費の縮減に努めながらも(仮称)屋代スマートICや周辺開発に影響が無いように事業の推進を図る。</p> <p>○打沢屋代間の一重山を越えるルートについては、関係機関(しなの鉄道、北陸新幹線等)と諸条件・課題の整理を実施し、ルート選定を令和7年度中に進める。早期事業化に向け、期成同盟会と連携し、関係機関(国、県)へ要望していく。</p> <p>○市道打沢新道線については、令和7年度に路線測量を行い、詳細設計を進め地元への設計説明会を開催する。令和8年度から用地測量、補償調査等を実施する。</p>
--	--

基本目標1 災害に強く安全で安心な暮らしができるまち

事業名	屋代地区スマートインターチェンジ 整備事業	担当課名	道路河川課・公民共創推進室
-----	-----------------------	------	---------------

事業費		主要な施策の成果等
決算額(円)		道路河川課
72,352,053		【事業目的】 ○産業促進、住民生活の利便性向上、渋滞抑制、観光促進などの地域活性化や防災支援、救命医療支援などの整備効果が期待される（仮称）屋代スマートICの新設を促進する。
節別内訳(円)		【実績】 ○SIC関連事業である0次アクセス、側道についての用地取得のための用地境界を測量 ・市道返町東西線・市道返町1号線ほか用地測量業務 履行期間：R6.8.28～R7.3.21 契約金額：13,035,000円
報酬	1,611,960	○SIC関連事業である0次アクセス、側道、雨水調整池について、 SIC本体と一体で進める必要がある測量・設計の負担金 ・NEXCO東日本との工事等に関する工事細目協定書の規定に基づく年度契約 協定額：12,359,350円
給料、職員手当等	11,260,000	○市道一重山2号線との交差点設計 ・市道返町東西線交差点詳細設計業務 履行期間：R7.1.22～R7.6.30 契約金額：4,499,000円【R7～繰越】
報償費	0	○地元との調整状況について ・屋代スマートIC及び関連事業に伴う地権者説明会（R6.8.21） ・屋代スマートIC及び関連事業に関する地元説明会（R6.11.12） 東部地区・屋代地区の区長・代理区長及び地元議員を対象に8.21と同様な内容で説明し、事業の周知を図った。
旅費	24,000	・屋代スマートIC及び関連事業に伴う設計説明会（R7.3.25）
需用費	730,743	○関係機関との調整事業について ・長野国道事務所：現地調査と進捗状況等の確認（R6.10.16） ・千曲川河川事務所：千曲川の掘削土受入スケジュールを確認（R6.9.6） ・千曲川河川事務所：千曲川掘削土受入（R7.2.4～R7.3.14） ・ネクスコ東日本：工事に関する打合せ、用地事務に関する打合せを定期的に実施 ・長野県警察本部交通規制課・高速道路交通警察隊：事業概要とこれまでの公安協議経過説明（R6.10.24） ・長野県警察本部交通規制課：公安協議下協議（R7.3.7）
役務費	0	
委託料	42,167,000	
使用料及び賃借料	0	
工事請負費	0	
原材料費	0	
公有財産購入費	0	
備品購入費	0	
負担金、補助及び交付金	16,558,350	
扶助費	0	
補償、補填及び賠償金	0	
公課費	0	
財源内訳(円)		
国庫支出金	17,525,000	
県支出金		
地方債	8,100,000	
その他		
一般財源	46,727,053	
【会計区分】 一般会計		

事業名	屋代地区スマートインターチェンジ整備事業	担当課名	道路河川課・公民共創推進室
-----	----------------------	------	---------------

<p>【成果等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○(仮称)屋代スマートインターチェンジ建設事業及び関連事業について、地権者及び地元関係者への説明会を通じ、事業の周知を図ことができた。 ○当該スマートインターチェンジ整備の目的、効果、事業内容について、市報及び市ホームページでの紹介、定期広報紙「スマートインターチェンジだより」(Vol.1・2・3)の発刊、市役所1階及び市民ギャラリーでのPR動画の放映等、積極的な広報活動を通じ、市民に対し事業への周知及び理解を図ることができた。 ○関係者と事業について早めに確認及び共有できている。 ○成人式において、パンフレットを配布し周知に努めた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○(仮称)屋代スマートIC建設事業は、ネクスコ東日本との協定の中でスケジュールが決まっており、市が実施する用地事務及び埋蔵文化財の発掘調査に対応する市職員の確保(経験と人数)が必要となっている。 (用地事務は、R7～R8にSIC及びSIC関連事業) (埋蔵文化財の発掘調査は、R7～R9) ○千曲川の掘削土の他、長野県裾花ダムの浚渫土や企業局水道管理事務所や千曲建設事務所発注工事に伴う建設発生土の受入を予定しているが、盛土規制法の施行に伴う規制や他市町村の受入希望地が増加していることから、土砂の確保が課題となっている。(土砂の受入は、R7～R8を予定) <p><u>公民共創推進室</u></p> <p>【事業目的】</p> <p>屋代SICが令和5年9月に事業化されたことに伴い、地域住民や来訪者の利便性向上と地域経済の活性化を目的に、その周辺に多様な交通手段を結節させるモーダルコネクト拠点を整備し、広域的な周遊促進と地域の交流・滞在拠点の形成を図る。</p> <p>【実績】</p> <table border="0"> <tbody> <tr> <td>R6. 5. 22～R6. 10. 31</td> <td>流用土ストックヤード用地測量業務委託</td> <td>契約額 4,928,000円</td> </tr> <tr> <td>R6. 6. 14～R7. 2. 28</td> <td>(仮称)屋代SIC整備関連事業水路施設計画策定業務委託</td> <td>契約額 6,600,000円</td> </tr> <tr> <td>R6. 7. 1～R7. 3. 31</td> <td>地域活性化企業人受入</td> <td>負担金 4,199,000円</td> </tr> <tr> <td>R6. 7. 24～R7. 3. 28</td> <td>(仮称)屋代SIC周辺での交通拠点整備のための基盤整備検討調査業務委託</td> <td>契約額 15,994,000円</td> </tr> </tbody> </table>	R6. 5. 22～R6. 10. 31	流用土ストックヤード用地測量業務委託	契約額 4,928,000円	R6. 6. 14～R7. 2. 28	(仮称)屋代SIC整備関連事業水路施設計画策定業務委託	契約額 6,600,000円	R6. 7. 1～R7. 3. 31	地域活性化企業人受入	負担金 4,199,000円	R6. 7. 24～R7. 3. 28	(仮称)屋代SIC周辺での交通拠点整備のための基盤整備検討調査業務委託	契約額 15,994,000円
R6. 5. 22～R6. 10. 31	流用土ストックヤード用地測量業務委託	契約額 4,928,000円										
R6. 6. 14～R7. 2. 28	(仮称)屋代SIC整備関連事業水路施設計画策定業務委託	契約額 6,600,000円										
R6. 7. 1～R7. 3. 31	地域活性化企業人受入	負担金 4,199,000円										
R6. 7. 24～R7. 3. 28	(仮称)屋代SIC周辺での交通拠点整備のための基盤整備検討調査業務委託	契約額 15,994,000円										

事業名	屋代地区スマートインターチェンジ整備事業	担当課名	道路河川課・公民共創推進室
-----	----------------------	------	---------------

	<p>R6.11.18～R7.3.28 モーダルコネクト拠点整備のための アドバイザー業務委託 契約額 455,000円</p> <p>R6.11.27～R7.3.21 流用土ストックヤード設計業務委託 契約額 1,155,000円</p> <p>【成果等】 ○基礎調査及び意見聴取から交通拠点の基本計画（案）を作成。</p> <p>【今後の方向性】 ○交通拠点について、今後用地取得に着手するとともに、事業化検討サウンディング調査を進め、事業者公募に向けた公民連携手法の具体化・深化化を図る予定。</p> <p>○本拠点を含むスマート IC周辺のまちづくり方針の策定や、民間事業者による再開発等とも連携・協働しながら検討を深化する見込み。</p>
--	--

基本目標1 災害に強く安全で安心な暮らしができるまち

事業名	地域防災拠点・道の駅	担当課名	公民共創推進室
-----	------------	------	---------

事業費		主要な施策の成果等
決算額(円)		【事業目的】 地域防災拠点・道の駅整備の方針、設置施設、設置場所、設置時期等について各課連携して検討を行い、第三次千曲市総合計画・千曲市復興計画に基づき、地域防災拠点・道の駅整備について検討を進めるため。
19,287,380		
節別内訳(円)		【実績】
報酬		調査 R6.7 地権者意向調査、地権者向け事業説明会開催 R6.7 基本構想に関するパブリックコメント実施 R6.7~9 庁内関係部署とワークショップ3回実施 R6.9 長野県庁事業チャレンジナガノを活用 R6.9 地域防災拠点・道の駅基本構想策定 R6.10~3 企業ヒアリング R7.3 八千穂高原道の駅、ヘルシーテラス佐久道の駅視察 (千曲市議会議員含む期成同盟会も同席の元視察)
給料、職員手当等	5,630,000	
報償費		委託 R6.7 令和5年度 千曲市地域防災拠点・道の駅基本構想策定業務委託 R7.3 視察バス委託 R7.2~R8.3 「千曲市地域防災拠点・道の駅基本計画策定支援及び民間活力導入可能性調査業務委託」策定業務委託（令和6、7年度支払い）
旅費		
需用費		
役務費		
委託料	13,657,380	【成果等】 地権者意向調査：候補地の約80%の同意を確認。 基本構想に関するパブリックコメント実施：87件の意見聴取 府内ワークショップ：関係各課から道の駅に対する考え方聴取 チャレンジナガノ：ソフトからハードまで18企業とマッチング 地域防災拠点・道の駅基本構想策定 視察：同盟会と共に先進道の駅視察を行い、今後の参考にするとともに地元関係者と事業の気運を高めた。
使用料及び賃借料		
工事請負費		
原材料費		
公有財産購入費		
備品購入費		
負担金、補助及び交付金		
扶助費		
補償、補填及び賠償金		
公課費		
財源内訳(円)		【今後の方向性】
国庫支出金		令和7年度
県支出金		<ul style="list-style-type: none"> 5月：交通量調査実施 6月～3月：推進協議会（地元団体・市民で構成）4回開催 2月：計画についてパブリックコメント実施 2月：計画について地元説明会 年度内：基本計画・導入可能性調査完了 (事業計画・資金計画・整備手法の決定等を行う)
地方債		
その他		
一般財源	19,287,380	令和8年度以降
【会計区分】 一般会計		<ul style="list-style-type: none"> PFI アドバイザリー委託 (PFI活用の場合) 運営者探し 補助金・交付金の活用に向けた動き

基本目標1 災害に強く安全で安心な暮らしができるまち

事業名	地域開発推進事業	担当課名	公民共創推進室
-----	----------	------	---------

事業費		主要な施策の成果等	
決算額(円)		【事業目的】	
9,952,828		令和5年9月に新規事業化の事業認可を受けた（仮称）屋代SICの周辺地区について、計画的な土地利用の誘導と道路交通網の整備を図り、市内全域が効果を享受できる魅力的なまちづくりとするため、屋代SIC周辺地区の指針となるまちづくり方針（案）や地区計画（案）を策定する。	
報酬		【実績】	
給料、職員手当等	5,630,000	R6.6.6～R6.6.7	都内企業訪問、関東地方整備局相談
報償費		R6.8.28	都内企業訪問
旅費	340,250	R6.12.12	福井県敦賀市 視察
需用費	982,578	R7.2.14～R8.3.27	まちづくり方針等策定業務委託
役務費			
委託料	3,000,000		
使用料及び 賃借料			
工事請負費			
原材料費			
公有財産 購入費			
備品購入費			
負担金、補助 及び交付金			
扶助費			
補償、補填 及び賠償金			
公課費			
財源内訳(円)		【成果等】	
国庫支出金		○方針を検討・策定する前提となる基礎資料（市全体と屋代SIC周辺地区の概況の整理及び分析結果、SIC周辺等のまちづくり事例）を作成した。	
県支出金			
地方債			
その他			
一般財源	9,952,828		
【会計区分】 一般会計			

基本目標1 災害に強く安全で安心な暮らしができるまち

事業名	長野電鉄屋代線跡地整備事業	担当課名	道路河川課
-----	---------------	------	-------

事業費		主要な施策の成果等
決算額(円)		【事業目的】 長野電鉄屋代線跡地の良好な都市基盤の整備を推進し、健康づくりや地域コミュニティの活性化を目指すと共に、千曲市自転車活用推進計画に掲げた自転車ネットワーク路線として、自転車歩行者専用道路として活用を図る。
193,722,013		
節別内訳(円)		【実績】
報酬		○市道屋代中学校北線自転車歩行者専用道整備 L=430m W=4.0~6.0m
給料、職員手当等	3,378,000	○長野電鉄屋代線東屋代駅跡地整備 広場整備 660m ² 基盤整備 一式 施設整備 一式 中低木植栽工 一式 地被類植栽工 一式
報償費		○しなの鉄道(株)との支障移転補償 一式
旅費		○しなの鉄道(株)との鉄道近接工事にかかる負担金契約
需用費		
役務費		
委託料		【成果等】
使用料及び賃借料		○令和6年度工事区間は令和7年度工事完了後に供用開始となるため、令和7年度に効果発現予定。
工事請負費	157,388,000	
原材料費		
公有財産購入費		【今後の方向性】
備品購入費		○市道屋代中学校北線は、令和7年度の工事を経て全線供用予定。
負担金、補助及び交付金	1,031,800	○旧東屋代駅跡地の広場整備を引き続き実施する。
扶助費		○令和7年度から、雨宮工区(市道雨宮東西線) L=約1,300mの整備に着手する。
補償、補填及び賠償金	31,924,213	
公課費		
財源内訳(円)		
国庫支出金	100,320,000	
県支出金	3,000,000	
地方債	73,800,000	
その他		
一般財源	16,602,013	
【会計区分】 一般会計		

基本目標1 災害に強く安全で安心な暮らしができるまち

事業名	防災対策事業	担当課名	危機管理防災課
-----	--------	------	---------

事業費		主要な施策の成果等
決算額(円)		【事業目的】
39,828,325		○災害時の逃げ遅れゼロを実現するため、適時適切な避難情報の発信・発令と確実な情報伝達、避難所機能の強化、より実践的な防災訓練の実施、防災・減災の啓発により、市民一人ひとりが主体的に行動する防災意識の高い社会の実現を目指す。
節別内訳(円)		【実績】
報酬		○防災備蓄品の整備・避難所機能強化 ・備蓄品整備：6,907,513円 (パーティション100張、簡易ベッド100台、ブルーシート500枚、保存水6000本、アルファ米2000食ほか)
給料、職員手当等	9,571,000	・避難所開設・運営訓練の実施：小中学校等15避難所
報償費	50,000	○総合防災訓練の実施(9月8日) ・重点地区：八幡地区(八幡小学校)
旅費		○地域防災計画の修正業務(2月)
需用費	9,492,705	○情報伝達手段の充実 ・戸別受信機の設置(新規要支援者20世帯、難聴地域19世帯) ・防災行政無線(同報系)保守点検業務、バッテリー交換
役務費	84,400	○地域防災力の向上 ・地区防災計画策定支援：18地区作成済み ・自衛消防団等運営補助金：753,000円(60団体)
委託料	18,322,480	○洪水・土砂災害ハザードマップの作成 ・委託料5,049,000円 ・作成部数25,000部(市内5地区)
使用料及び賃借料	1,040,600	○市民の防災意識の醸成 ・気象防災アドバイザー等による講演会(R6年11月24日) 鈴木智恵氏(防災士・気象防災アドバイザー)参加者46名 ・出前講座14回(708人)
工事請負費		○飲料水兼用耐震性貯水槽の点検 ・委託料2,068,000円(勤労者体育センター)
原材料費		【成果等】
公有財産購入費		○市報やSNSなどの各種媒体による啓発や出前講座の開催、防災訓練の実施等により、市民一人ひとりの防災意識の向上と各地区の防災体制の整備・強化につなげている。
備品購入費	514,140	○有事に備え、防災備蓄品の充実と安全安心な飲料水の確保
負担金、補助及び交付金	753,000	
扶助費		【今後の方向性】
補償、補填及び賠償金		○自助・共助・公助の役割分担の下、「自らの命は自らが守る」、「自らのまちは自らが守る」ことを基本に、地域防災力を向上させるための取組みを推進する。
公課費		また、共助の体制再構築に向け、地区防災計画を全地区で策定できるよう、必要な支援を行う。(自衛消防団等運営補助金の見直しにより地域における備蓄品の整備を進める。)
財源内訳(円)		
国庫支出金	2,500,000	
県支出金		
地方債		
その他	29,027,000	
一般財源	8,301,325	
【会計区分】 一般会計		

基本目標1 災害に強く安全で安心な暮らしができるまち

事業名	住宅・建築物耐震改修促進事業	担当課名	建築課
-----	----------------	------	-----

事業費		主要な施策の成果等
決算額(円)		【事業目的】 市内の既存建築物の耐震性能を確保するため、耐震診断とその結果に基づく耐震改修等を促進することにより、既存建築物の耐震性能の向上を図り、今後予想される地震災害に対して市民の生命、身体及び財産を守ること。
27,992,000		
節別内訳(円)		【実績】 ○総合防災訓練において、重点地区に耐震ブースを設置して、参加者に耐震化の啓発を行った。
報酬		
給料、職員手当等	6,193,000	○耐震化の重要性、防災意識の向上を目的として、耐震勉強会を開催した。(24名参加)
報償費		○各補助事業
旅費		◆「千曲市木造住宅・避難施設耐震診断士派遣事業実施要綱」による耐震診断 50件 委託金額: 3,250,000円
需用費		◆「千曲市住宅・建築物耐震改修促進事業補助金交付要綱」による補助事業
役務費		・耐震改修 4件 補助金額 4,000,000円
委託料	3,250,000	・除却 15件 補助金額 13,630,000円 計 17,630,000円
使用料及び賃借料		◆「千曲市ブロック塀等安全対策促進事業補助金交付要綱」による補助事業
工事請負費		・ブロック塀等除去(基礎共) 6件 補助金額 423,000円
原材料費		・ブロック塀等除去(基礎残し)9件 補助金額 382,000円
公有財産購入費		・ブロック塀等撤去後、軽量な塀の設置 3件 114,000円 計 919,000円
備品購入費		
負担金、補助及び交付金	18,549,000	
扶助費		
補償、補填及び賠償金		
公課費		
財源内訳(円)		【成果等】 ○勉強会や啓発活動により、市民と直接対話をすることで、参加者の意識の向上に寄与できた。
国庫支出金	9,635,000	令和6年度より、住宅の除却補助を開始したところ、多くの申込があり、耐震性に劣る住宅が減少した。
県支出金	2,021,000	7月から耐震シェルター・ベッドの設置補助を開始したが、申請者は無しであった。
地方債		
その他		
一般財源	16,336,000	【今後の方向性】 ○令和6年能登半島地震以降、診断や改修、除却及び耐震シェルター・ベッドの問合せが多くなっている。引き続き耐震化についての説明会等を実施して補助制度の周知を行い、市内の既存建築物の耐震化につなげていく。また、国が実施している耐震改修利子補給制度(リバース60)が利用できるよう補助要綱を整備していく。(令和7年7月より利用開始)

【会計区分】 一般会計

基本目標1 災害に強く安全で安心な暮らしができるまち

事業名	デマンドタクシー実証運行事業	担当課名	総合政策課
-----	----------------	------	-------

事業費		主要な施策の成果等
決算額(円)		【事業目的】
12,317,479		○地域にふさわしい公共交通の充実と、高齢者等交通弱者の日常生活における移動手段の確保に向けて、市内3エリアにおいてデマンド型乗合タクシーの実証運行を実施する。 ・令和5年9月25日から「稻荷山・八幡」「更級」「上山田」エリアにおいて、実証運行を開始。
節別内訳(円)		【実績】
報酬		○運行事業負担金 ・稻荷山・八幡：3,128,944円（更埴観光タクシー） ・更級：1,811,967円（畠山自動車商会） ・上山田：2,326,672円（シンリク観光）
給料、職員手当等	4,222,500	○千曲市地域公共交通活性化協議会における評価・検証 ・第1回：評価・検証。今後の方向性を協議 ・第2回：昼間に1便追加等利便性を高めたうえで、実証運行期間の終期を令和7年4月13日から令和8年4月19日へ延長を決定 ・第3回：評価・検証。期間終了後の在り方を協議
報償費	59,850	○毎月、運行事業者から運行状況の報告書の提出を受け、利用人数及び発着停留所等の情報を分析し、評価検証のための基礎情報を整理
旅費		○その他利用証等の発行、時刻表及び停留所の管理を実施 ※財源に「魅力あるまちづくり基金繰入金」を活用
需用費	109,306	
役務費		
委託料	658,240	
使用料及び賃借料		
工事請負費		
原材料費		
公有財産購入費		
備品購入費		
負担金、補助及び交付金	7,267,583	
扶助費		【成果等】
補償、補填及び賠償金		○稲荷山・八幡エリア ・登録者447(219)人/運行日数233日/利用回数706回
公課費		○更級エリア ・登録者302(146)人/運行日数195日/利用回数404回
財源内訳(円)		○上山田エリア ・登録者322(158)人/運行日数217日/利用回数510回 ()内は昨年度数値
国庫支出金		
県支出金		
地方債		
その他	7,267,000	【今後の方向性】
一般財源	5,050,479	○3エリアにおける実証運行後の事業の継続可否について、利用実績や利用者・関係者等の意見、エリア毎の状況等を総合的に勘案し、市地域公共交通活性化協議会において協議する。 ○公費負担率及び運行事業所への過度な負担の軽減と利便性の向上について、適切なバランスを見出すための施策を研究していく。
【会計区分】 一般会計		

基本目標2 千曲っ子が元気に育つ生涯学びのまち

事業名	こども家庭センター事業	担当課名	こども未来課
-----	-------------	------	--------

事業費		主要な施策の成果等
決算額(円)		【事業目的】
13,782,057		全ての妊娠婦・子育て世帯・子どもの包括的な相談支援を行う。児童の年齢により支援に切れ目が生じないよう、関係機関と連携を深め、継続した子育て支援を行う。
節別内訳(円)		【実績】
報酬	933,240	・母子保健部門を健康推進課母子保健係、児童福祉部門をこども未来課こども家庭相談係が担い、毎月1~2回のこそだてサポート会議を開催し、特定妊娠、要保護・要支援家庭の情報共有・支援方法について話し合いを行っている。また、児童家庭相談システムを活用し、随時支援内容、状況等を共有し連携を図っている。
給料、職員手当等	8,445,000	・子ども家庭支援員2名（家庭相談員兼務）のほかに専門職員（社会福祉士）を配置し、虐待を受けている子どもを始めとする支援対象児童等の適切な保護を図るために、関係機関と連携しながら相談支援を行っている。また、児童虐待と深く関わると言われるDV等に関しては、女性相談支援員を2名配置し対応している。
報償費	6,300	・児童相談対応の件数 5,903件 ・児童虐待通告件数 114件 ・こそだてサポート会議 18回 ・要保護児童対策地域協議会 代表者会議 1回 実務者会議 3回 個別ケース検討会議 35回
旅費	48,300	
需用費	17,617	
役務費		
委託料		
使用料及び賃借料	4,329,600	
工事請負費		
原材料費		
公有財産		
購入費		
備品購入費		
負担金、補助及び交付金	2,000	【成果等】
扶助費		・妊娠期からの早期支援を行うことにより、児童虐待の予防が図れる。
補償、補填及び賠償金		
公課費		
財源内訳(円)		【今後の方向性】
国庫支出金	3,971,368	・より高い専門性が求められてきているため有資格者を確保し、研修等へ積極的に参加する。
県支出金	2,074,492	・母子保健部門との一体的支援の継続、その他機関との連携を強化する。
地方債		
その他		
一般財源	7,736,197	
【会計区分】 一般会計		

基本目標2 千曲っ子が元気に育つ生涯学びのまち

事業名	新生児聴覚検査支援事業	担当課名	健康推進課
-----	-------------	------	-------

事業費		主要な施策の成果等			
決算額(円)		【事業目的】			
4,835,070		先天性難聴(約1/1,000人)を早期発見し、適切な治療や療育につなげるため、全ての新生児が聴覚検査を受けられるよう検査費用の公費負担を行う。			
節別内訳(円)		新生児聴覚検査に要する費用(初回検査+確認検査)が5,000円に達するまでは無料とし、5,000円を超える場合は、保護者が差額について負担する。			
報酬		【実績】			
給料、職員手当等	3,378,000	○対象児 305人(令和6年4月1日～令和7年3月31日生)			
報償費		受検票	異常なし	異常あり	計
旅費		受検票利用	289人	2人※1	291人
需用費		受検票未利用	6人	1人※2	7人
役務費	6,270	計			298人
委託料	1,423,000	※1 耳鼻科での再検査が必要となり、3か月児健診受診時に検査結果を確認していく。			
使用料及び賃借料		※2 経過観察(半年後診察)			
工事請負費		○受検率			
原材料費		・受検票利用率 95.4%(305人中291人)			
公有財産購入費		・検査受検率 97.7%(305人中298人)			
備品購入費		【成果等】			
負担金、補助及び交付金	27,800	○聴覚検査について未把握児は7人。			
扶助費		・長期入院中のため未把握の児 1人			
補償、補填及び賠償金		・3月下旬の出生のため、受検が4月となり受検票が市に届いておらず未把握の児 6人			
公課費		○聴覚検査を拒否される方はいない。			
財源内訳(円)		○県外で聴覚検査を受けた方6人については、5,000円を上限とした償還払いとし、検査結果についても把握。			
国庫支出金		【今後の方向性】			
県支出金		・疾患等があり、受検票を利用せず聴覚検査を受ける児もいるため、赤ちゃん訪問や3か月児健診で聴覚検査の有無と結果について確認する。また、難聴が発見された児については、適切な治療や療育につなげ、支援していく。			
地方債					
その他	1,000,000				
一般財源	3,835,070				
【会計区分】 一般会計					

基本目標2 千曲っ子が元気に育つ生涯学びのまち

事業名	子育て世帯訪問支援事業	担当課名	こども未来課
-----	-------------	------	--------

事業費	主要な施策の成果等										
決算額(円) 1,743,000	【事業目的】 家事・子育て等に対して不安や負担を抱えた子育て家庭、妊産婦、ヤングケアラー等がいる家庭の居宅を訪問支援員が訪問し、不安や悩みを傾聴するとともに、家事・子育て等の支援を実施することにより、家庭や養育環境を整え、虐待リスク等の高まりを未然に防ぐ。										
節別内訳(円)											
報酬 給料、職員手当等 報償費 旅費 需用費 役務費 委託料 使用料及び 賃借料 工事請負費 原材料費 公有財産 購入費 備品購入費 負担金、補助 及び交付金 扶助費 補償、補填 及び賠償金 公課費	<p>○対象者について</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者に監護させることが不適当であると認められる児童の保護者等 食事生活習慣等について不適切な養育状態にある児童、児童の養育について支援が特に必要と認められる保護者等 出産後の養育について出産前に支援が特に必要と認められる若年妊婦等 <p>○事業の実施時間等</p> <p>1日当たり2時間を限度、1月当たり20時間まで</p> <p>○利用者負担額（1時間当たり）</p> <table> <tbody> <tr> <td>・生活保護世帯</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>・市民税非課税世帯</td> <td>300円</td> </tr> <tr> <td>・市民税所得割課税額77,101円未満世帯</td> <td>600円</td> </tr> <tr> <td>・上記以外の世帯</td> <td>1,500円</td> </tr> <tr> <td>・特別な事情があると認められる世帯</td> <td>減免・免除</td> </tr> </tbody> </table> <p>○委託料（1時間当たり）3,000円</p> <p>【実績】</p> <p>利用者数 2人 利用回数 9回（延べ） 利用時間 18時間（延べ） 委託料 18時間×3,000円=54,000円</p> <p>【成果等】 家事、育児支援および不安や悩みの傾聴を行うことにより、養育環境を整え、虐待リスクの軽減につながった。</p> <p>【今後の方向性】 利用期間の見極め方や、産前・産後ヘルパーとの使い分け等について検討していく。</p>	・生活保護世帯	0円	・市民税非課税世帯	300円	・市民税所得割課税額77,101円未満世帯	600円	・上記以外の世帯	1,500円	・特別な事情があると認められる世帯	減免・免除
・生活保護世帯	0円										
・市民税非課税世帯	300円										
・市民税所得割課税額77,101円未満世帯	600円										
・上記以外の世帯	1,500円										
・特別な事情があると認められる世帯	減免・免除										
財源内訳(円) 国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 1,707,000											
【会計区分】 一般会計											

基本目標2 千曲っ子が元気に育つ生涯学びのまち

事業名	保育所施設整備事業 (屋代保育園建設事業)	担当課名	保育課
-----	--------------------------	------	-----

事業費		主要な施策の成果等			
決算額(円)		【事業目的】			
695,643,400		昭和45年に建設された屋代保育園は、老朽化と耐震強度が不足しているため、千曲市公共施設個別施設計画に基づき改築工事を進める。			
報酬		【実績】			
給料、職員手当等	2,815,000	令和4年度に作成した実施設計に基づき、建設工事に着手した。			
報償費		●令和5年度 屋代保育園建設事業			
旅費		・建築主体工事 493,724,000円（精算）/817,124,000円			
需用費		・機械設備工事 102,091,000円（精算）/135,091,000円			
役務費		・電気設備工事 78,408,000円（精算）/104,148,000円			
委託料	18,605,400	・監理業務委託 15,895,000円（精算）/ 15,895,000円			
使用料及び賃借料		※令和6年度債務負担事業			
工事請負費	674,223,000	●開園までの経過			
原材料費		・令和7年3月21日 竣工			
公有財産購入費		・令和7年4月9日 竣工式			
備品購入費		・令和7年4月13日 内覧会			
負担金、補助及び交付金		・令和7年4月21日 開園			
扶助費		●令和6年度 旧園舎解体関連事業			
補償、補填及び賠償金		・解体工事 実施設計業務委託 1,694,000円			
公課費		・アスベスト調査分析業務委託 994,400円			
財源内訳(円)		・シーリングPCB含有調査分析業務委託 22,000円			
国庫支出金		【成果等】			
県支出金		・当初の予定どおり遅滞なく工事を完了させた。			
地方債	345,000,000	・訪問、お知らせ等を繰り返したことにより、大きな苦情もなく隣接者や地元区に新しい園舎を受け入れてもらえた。			
その他	93,600,000	・移転したことにより園児及び保育士の保育環境と保護者送迎の利便性（道路・駐車場）が上がった。			
一般財源	257,043,400	【今後の方向性】			
【会計区分】 一般会計					
・令和7年度に旧園舎の解体工事を進め完了させる。					
・旧園舎の跡地利用については、宅地造成を前提に売却を計画しているが、一部を地元区の可燃ごみ収集庫用地として利用する要望があり、地元区と環境課で協議を進めていく。					

基本目標2 千曲っ子が元気に育つ生涯学びのまち

事業名	保育所施設整備事業 (稻荷山保育園耐震改修事業)	担当課名	保育課
-----	-----------------------------	------	-----

事業費	主要な施策の成果等
決算額(円) 155,388,800	【事業目的】 昭和51年に建設された稻荷山保育園は、耐震基準を満たしていないため、千曲市公共施設個別施設計画に基づき耐震工事を進める。
節別内訳(円)	
報酬	
給料、職員手当等 2,252,000	
報償費	
旅費	
需用費	
役務費	
委託料 6,600,000	
使用料及び 賃借料 6,242,800	
工事請負費 140,294,000	
原材料費	
公有財産 購入費	
備品購入費	
負担金、補助 及び交付金	
扶助費	
補償、補填 及び賠償金	
公課費	
財源内訳(円)	
国庫支出金	
県支出金	
地方債 146,800,000	
その他	
一般財源 8,588,800	
【会計区分】 一般会計	
	【実績】 ●令和5年度 稲荷山保育園耐震改修事業 ・建築主体工事 125,774,000円 ・機械設備工事 7,040,000円 ・電気設備工事 7,480,000円 ・監理業務委託 6,600,000円 ※債務負担事業（令和5年度から6年度まで）
	●稻荷山保育園耐震改修の関連事業（仮設園舎） ・令和5年度 仮設保育室用トレーラーハウスレンタル事業 レンタル料金 5,442,800円 月額 544,280円（大型1、小型1） 期間 10ヶ月（令和6年4月～令和7年1月） ※債務負担事業：令和5年度より令和6年度まで レンタル保証料 800,000円 ※トレーラーハウス返却時に発生した修繕料 44,000円を差し引いた 756,000円が一般会計に返金
	【成果等】 ・当初の予定どおり遅滞なく工事を完了させた。 ・耐震工事により建物の躯体が健全化されたため、安心・安全な園舎となった。 ・工事期間中は仮設園舎として旧稻荷山デイサービスセンターと八幡保育園で分散保育をしていたが、近隣者や保護者との大きなトラブルも無く終了した。
	【今後の方向性】 ・令和8年度着工予定の戸倉保育園改築工事が完了すれば市立11保育園は全て耐震化される。

基本目標2 千曲っ子が元気に育つ生涯学びのまち

事業名	保育所施設整備事業 (戸倉保育園改築事業)	担当課名	保育課
-----	--------------------------	------	-----

事業費		主要な施策の成果等	
決算額(円)		【事業目的】	
3,863,000		昭和51年に建設された戸倉保育園は、老朽化と耐震強度が不足しているため、千曲市公共施設個別施設計画に基づき改築工事を進める。令和6年度は令和7年度に作成する戸倉保育園改築事業 基本・実施設計業務に必要な調査を行う。	
節別内訳(円)			
報酬			
給料、職員手当等	563,000		
報償費			
旅費			
需用費			
役務費			
委託料	3,300,000		
使用料及び賃借料		【実績】	
工事請負費		●令和6年度 戸倉保育園改築事業の関連事業	
原材料費		・現地測量業務委託 1,925,000円	
公有財産購入費		・アスベスト調査分析業務 1,375,000円	
備品購入費			
負担金、補助及び交付金			
扶助費			
補償、補填及び賠償金		【成果等】	
公課費		・基本・実施設計業務に必要なデータを得ることができた。	
財源内訳(円)		【今後の方向性】	
国庫支出金		・令和7年度に基本・実施設計を作成する。	
県支出金		・令和8年度以降の予定は下記のとおり。	
地方債	900,000	仮設園舎設置（白鳥園多目的広場 南側）	
その他		仮設へ引越し	
一般財源	2,963,000	園舎解体	
		園舎改築	
		園舎完成	
		新園舎へ引越し	
		開園（令和10年4月）	
		仮設園舎解体	
【会計区分】 一般会計			

基本目標2 千曲っ子が元気に育つ生涯学びのまち

事業名	保育所施設整備事業 (五加保育園未満児室増築事業)	担当課名	保育課
-----	------------------------------	------	-----

事業費		主要な施策の成果等
決算額(円)		【事業目的】
23,625,854		園児の増加に伴い令和7年度に実施する未満児室増築工事に先立ち、増築及び関連する事業の実施設計と送迎用駐車場を広げる造成工事を千曲市公共施設個別施設計画に基づき進める。
節別内訳(円)		
報酬		
給料、職員手当等	2,815,000	
報償費		
旅費		
需用費		
役務費		
委託料	5,331,700	
使用料及び賃借料		
工事請負費	6,010,000	●令和6年度 五加保育園未満児室増築工事の関連事業 ・未満児室増築工事 実施設計業務委託 3,073,400円 ・電気改修工事 実施設計業務委託 429,000円 ・食洗器設置工事 実施設計業務委託 286,000円
原材料費		
公有財産購入費	9,469,154	●令和6年度 五加保育園駐車場造成工事の関連事業 ・駐車場造成工事 用地測量業務委託 1,048,300円 ・駐車場造成工事 詳細設計業務委託 495,000円 ・駐車場造成工事 6,010,000円(前払) /15,031,500円 ※工期延長により令和7年度へ繰越 ・駐車場造成用地購入費 9,469,154円 ※大字内川648番地1のうち468.77m ²
備品購入費		
負担金、補助及び交付金		
扶助費		
補償、補填及び賠償金		
公課費		
財源内訳(円)		【成果等】 ・未満児室増築と関連する各種実施設計を作成した。 ・用地購入・手続き等を進め、駐車場造成工事に着手した。
国庫支出金		
県支出金		
地方債	5,000,000	
その他		
一般財源	18,625,854	
【会計区分】 一般会計		【今後の方向性】 ・未満児室増築工事は令和7年度早期に入札を行い年度内の完成と令和8年度の使用開始を目指す。 ・未満児室増築に伴う電気改修工事は増築着工前に完成させる。 ・駐車場造成工事は令和7年4月中に完了・使用開始させる(繰越事業)。

基本目標2 千曲っ子が元気に育つ生涯学びのまち

事業名	学校給食食材高騰分支援事業	担当課名	第1学校給食センター
-----	---------------	------	------------

事業費		主要な施策の成果等
決算額(円)		【事業目的】
29,140,022		学校給食における「食材価格高騰分」について、1食34円の公費負担をすることにより、給食費を値上げせず、現在の額に据え置き、子育て世帯の経済的な負担を軽減する。
節別内訳(円)		【実績】
報酬		学校給食賄材料費 305,152,908円 (内 物価高騰分賄材料費 27,451,022円)
給料、職員手当等	1,689,000	1食あたり34円×対象児童生徒の年間喫食数807,383食=27,451,022円
報償費		
旅費		
需用費	27,451,022	
役務費		【内訳】
委託料		第1学校給食センター521,436食×34円=17,728,824円 第2学校給食センター285,947食×34円=9,722,198円
使用料及び賃借料		
工事請負費		*物価高騰が顕著になる前の令和2年度と令和5年度を比較するため物価高騰指数を使用し34円を算出。
原材料費		
公有財産購入費		
備品購入費		【成果等】
負担金、補助及び交付金		物価高騰に直面する保護者の経済的な負担軽減と給食の質と量を確保することができた。 交付金を活用し食材の価格高騰分を市が負担することにより、学校給食費を現在の額に据え置くことができた。 学校給食費の急激な値上げを回避することにより、子育て世帯の経済的な負担を軽減し、子育て支援となつた。
扶助費		
補償、補填及び賠償金		
公課費		
財源内訳(円)		【今後の方向性】
国庫支出金	24,615,000	給食費の急激な値上げを回避する。 今後、食材の価格動向を注視しながら支援額を検討していく。
県支出金		
地方債		
その他		
一般財源	4,525,022	
【会計区分】 一般会計		

基本目標2 千曲っ子が元気に育つ生涯学びのまち

事業名	放課後児童クラブ分室設置事業	担当課名	こども未来課
-----	----------------	------	--------

事業費		主要な施策の成果等
決算額(円)		【事業目的】
17,040,235		市内児童館・児童センター及び小学校内で運営している放課後児童クラブは、保護者が昼間家庭にいない小学生を預かり適切な遊びと生活の場を提供することで、児童の健全な育成と家庭の子育てを支援している。
節別内訳(円)		核家族世帯や就労する保護者の増加に伴い利用者数の増加が続いていることから、今後もその傾向が見込まれることから、受け入れ人数を増やすため小学校の空き教室等を活用して分室を設置する。
報酬		
給料、職員手当等	2,252,000	
報償費		
旅費		
需用費	59,235	
役務費		
委託料	14,729,000	【実績】
使用料及び賃借料		令和6年度 新設 稲荷山児童クラブ分室 治田小学校図工室 増室 塙生児童クラブ分室 塙生小学校家庭科室
工事請負費		
原材料費		
公有財産		
購入費		
備品購入費		【成果等】
負担金、補助及び交付金		前年度に比べ多くの利用児童を受け入れができる。また、学年等により区分された分室の受け入れにより児童一人あたりのスペースをより広く確保できている。
扶助費		
補償、補填及び賠償金		
公課費		
財源内訳(円)		【今後の方向性】
国庫支出金	2,173,836	利用者数は引き続き増加傾向にあることから、定員等を考慮し受け入れ人数に応じた小学校の空き教室等の利用について、検討・協議を続けていく。児童が校外に移動せずに安全に過ごせる場として、学校施設の放課後等の一時的な利用を検討しており、小学校や管理者等関係者間の理解を深めながら受け皿整備を進めていく必要がある。
県支出金	2,173,836	
地方債		
その他		
一般財源	12,692,563	
【会計区分】 一般会計		

基本目標2 千曲っ子が元気に育つ生涯学びのまち

事業名	赤ちゃん子育て応援事業	担当課名	こども未来課
-----	-------------	------	--------

事業費		主要な施策の成果等
決算額(円)		【事業目的】
2,256,480		令和6年4月2日から令和7年4月1日までに出生した新生児1人につき「子育て応援祝い品」として、子育てに役立てていただける内容のカタログギフト(5千円相当)を贈呈する。
節別内訳(円)		令和6年度より冊子タイプからカードタイプに切り替えを行った。
報酬		
給料、職員手当等	563,000	
報償費		
旅費		
需用費		
役務費	7,400	
委託料		3月末実績 窓口渡し 285件 郵送15件 計300件
使用料及び賃借料		負担金補助及び交付金(カタログ購入) @4,790(カタログ4,090円+システム手数料700円) ×40個×1.1×8回=1,686,080円
工事請負費		
原材料費		
公有財産購入費		
備品購入費		
負担金、補助及び交付金	1,686,080	【成果等】
扶助費		育児に関する金銭的負担が発生している対象家庭に対し、経済的支援が図られた。
補償、補填及び賠償金		
公課費		
財源内訳(円)		【今後の方向性】
国庫支出金		お子さんの誕生に対する市からのお祝いの気持ちを表し、健やかな成長を願う本事業について、市の独自事業としてSNS等でPRしていく。
県支出金		
地方債		
その他		
一般財源	2,256,480	
【会計区分】 一般会計		

基本目標2 千曲っ子が元気に育つ生涯学びのまち

事業名	15の春応援事業	担当課名	こども未来課
-----	----------	------	--------

事業費		主要な施策の成果等
決算額(円)		【事業目的】
15,083,000		義務教育を終え新しい生活に向かう児童を祝福するとともに、次のステージに向かう子育て世帯の生活を応援することを目的として、中学校3年生を対象に「15の春」応援事業給付金30,000円を給付する。
節別内訳(円)		
報酬		
給料、職員手当等	563,000	
報償費		
旅費		
需用費		
役務費		
委託料		
使用料及び 賃借料		
工事請負費		
原材料費		
公有財産 購入費		
備品購入費		
負担金、補助 及び交付金	14,520,000	
扶助費		
補償、補填 及び賠償金		
公課費		
財源内訳(円)		【実績】
国庫支出金		「15の春応援事業給付金」 給付実績 479世帯 484人×30,000円=14,520,000円
県支出金		
地方債		
その他		
一般財源	15,083,000	【成果等】
		中学卒業により新生活の準備が必要となる家庭に対して、経済的支援が図られた。
		【今後の方向性】
		これまで、中学卒業と同時に児童手当の支給対象年齢から外れていたが、令和6年10月の児童手当制度の改正により、高校生年代まで拡充された。そのため、15の春応援事業については、令和6年度をもって廃止とする。
【会計区分】 一般会計		

基本目標2 千曲っ子が元気に育つ生涯学びのまち

事業名	小中学校施設整備事業	担当課名	教育総務課
-----	------------	------	-------

事業費		主要な施策の成果等
決算額(円)		【事業目的】
7,253,300		小中学校の特別教室にエアコンを設置し、熱中症の予防と快適な学習環境を整備する また、空き教室にはエアコンが設置されていないため、学年進行により空き教室を使用する場合にも対応する
節別内訳(円)		
報酬		
給料、職員手当等	3,378,000	
報償費		
旅費		
需用費		
役務費		
委託料		
使用料及び賃借料		
工事請負費		
原材料費		
公有財産購入費		
備品購入費	3,875,300	【実績】
負担金、補助及び交付金		○設置箇所
扶助費		・八幡小学校学習室2 480,700円 ・八幡小学校家庭科室、調理室 801,900円 ・戸倉小学校家庭科室 834,900円 ・屋代中学校被服室 878,900円 ・埴生中学校調理室 878,900円
補償、補填及び賠償金		
公課費		
財源内訳(円)		【成果等】
国庫支出金		・特別教室4か所に加え、学年進級により使用することになった、普通教室1か所にも設置が完了し、教育環境を改善することができた
県支出金		
地方債		
その他		
一般財源	7,253,300	
【会計区分】 一般会計		【今後の方向性】
		・令和7年度も予算措置されており、現状の予算額では未設置箇所全ての設置は難しいが、予算の執行状況によっては令和8年度以降設置予定箇所の前倒しを検討する

基本目標2 千曲っ子が元気に育つ生涯学びのまち

事業名	千曲川ハーフマラソン事業	担当課名	スポーツ課
-----	--------------	------	-------

事業費		主要な施策の成果等																														
決算額(円)		【事業目的】																														
17,642,798		健康増進、交流人口の増加及び千曲市の魅力発信。 1年の走り納めの大会として位置づけ、千曲川、紅葉などの自然を感じながら走ったあとは、千曲市の観光資源である戸倉上山田温泉で疲れを癒してもらう。																														
節別内訳(円)		【実績】																														
報酬		開催日 令和6年11月17日(日) エントリー数																														
給料、職員手当等	6,756,000	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種目</th> <th rowspan="2">エントリー数</th> <th rowspan="2">前年比</th> <th colspan="3">備考(参加地域内訳)</th> </tr> <tr> <th>市内</th> <th>県内</th> <th>県外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ハーフマラソン</td> <td>1,507名</td> <td>▲31名</td> <td>210名</td> <td>1,077名</td> <td>220名</td> </tr> <tr> <td>ファミリーマラソン</td> <td>108組 230名</td> <td>+58組 +104名</td> <td>34組 74名</td> <td>70組 148名</td> <td>4組 8名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,737名</td> <td>+73名</td> <td>284名</td> <td>1,225名</td> <td>228名</td> </tr> </tbody> </table>				種目	エントリー数	前年比	備考(参加地域内訳)			市内	県内	県外	ハーフマラソン	1,507名	▲31名	210名	1,077名	220名	ファミリーマラソン	108組 230名	+58組 +104名	34組 74名	70組 148名	4組 8名	計	1,737名	+73名	284名	1,225名	228名
種目	エントリー数	前年比	備考(参加地域内訳)																													
			市内	県内	県外																											
ハーフマラソン	1,507名	▲31名	210名	1,077名	220名																											
ファミリーマラソン	108組 230名	+58組 +104名	34組 74名	70組 148名	4組 8名																											
計	1,737名	+73名	284名	1,225名	228名																											
需用費		<ul style="list-style-type: none"> 大会ゲストとして、オリンピック金メダリスト小平奈緒さん、千曲市PR大使鬼越トマホーク参加。 																														
役務費		<ul style="list-style-type: none"> 一重山太鼓、五加こども太鼓、キューティーアンズチアリーディングチームによる沿道でのランナー応援を実施。 																														
委託料		<ul style="list-style-type: none"> 姨捨棚田米のおにぎり、更級みそを使用した豚汁を配布。 																														
使用料及び賃借料		<ul style="list-style-type: none"> 参加者、ボランティア等運営スタッフに年末まで利用可能な市内8施設の日帰り温泉無料入浴券を配布し利用率は約64%。 																														
工事請負費		【成果等】																														
原材料費		<ul style="list-style-type: none"> エントリー数は前年を上回り、ほぼ定員に達した。 (過去3年募集定員に対し約97%以上のエントリー率を維持) 																														
公有財産購入費		<ul style="list-style-type: none"> ファミリーマラソンの部は定員を超えるエントリーとなり、親子でスポーツをするきっかけづくりとなった。 																														
備品購入費		<ul style="list-style-type: none"> ランナーを対象にスマートフォン(QRコード)で11項目に回答する満足度調査を実施。大会について「満足」「どちらかといえば満足」との回答が88.7%、「来年も参加したい」「できれば参加したい」との回答は98.2%。 																														
負担金、補助及び交付金	10,886,798	【今後の方向性】																														
扶助費		<ul style="list-style-type: none"> 大会の満足度を更に向上させるには、大会のスムーズな運営はもちろん、サービス(無料温泉券、棚田米おにぎり、豚汁、参加賞Tシャツ、タオル等)の質を維持していくことは必須。 																														
補償、補填及び賠償金		<ul style="list-style-type: none"> エントリー料を上げずに大会運営をする為には、募集定員に対し現状のエントリー率97%を下回らないようにすることが必要であり、次年度以降もあらゆる媒体を活用し広報、PR活動を積極的に行う。 																														
公課費																																
財源内訳(円)																																
国庫支出金																																
県支出金																																
地方債																																
その他	8,000,000																															
一般財源	9,642,798																															
【会計区分】 一般会計 ※負担金として実行委員会へ支出 ※その他財源はスポーツ振興くじ助成金																																

基本目標2 千曲っ子が元気に育つ生涯学びのまち

事業名	国スポ・全障スポ開催準備事業	担当課名	国スポ・全障スポ推進室
-----	----------------	------	-------------

事業費		主要な施策の成果等
決算額(円)		【事業目的】
9,990,166		2028年（令和10年）に長野県で開催予定の第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会（信州やまなみ国スポ・全障スポ）の競技会を円滑に運営するための準備を行う。本市では、体操（新体操）、ハンドボール及びボッチャの3競技を実施する予定である。
報酬		【実績】
給料、職員手当等	9,008,000	○会議 ・ハンドボール競技 第1回連絡調整会議（8/27 戸倉体育館） ・千曲市準備委員会 設立総会・第1回総会（10/7 市庁舎） ・千曲市準備委員会 第1回常任委員会（2/3 市庁舎）
報償費		○啓発事業 ・ボッチャ競技審判員スキルアップ講習会 （6/30 ことぶきアリーナ千曲）
旅費	113,600	【参加者数】受講者41名、講師・スタッフ15名
需用費	139,766	・2024Fujin-Raijin（風神雷神）BOCCIA LEAGUE -3rd- 長野大会 （7/27～28 ことぶきアリーナ千曲）
役務費	8,800	【参加者数】選手69名、審判・スタッフ93名
委託料		・第33回U-15ジュニアセレクトカップハンドボール大会 （12/20～24 ことぶきアリーナ千曲ほか3会場）
使用料及び賃借料		【参加チーム数】男女各24チーム（全国9ブロックから推薦）
工事請負費		○視察調査・説明会 ・わたSHIGA輝く国スポ2025 競技別リハーサル大会 体操（新体操）競技（6/7～9 滋賀県大津市） ハンドボール競技（8/8～10 滋賀県彦根市、近江八幡市） ・SAGA2024国スポ・全障スポ ハンドボール競技（10/9～11 佐賀県神埼市、吉野ヶ里町） ボッチャ競技（10/25～27 佐賀県嬉野市） 事業概要説明会（12/18～20 佐賀市／12/22～24 神埼市）
原材料費		
公有財産購入費		
備品購入費		
負担金、補助及び交付金	720,000	
扶助費		
補償、補填及び賠償金		
公課費		
財源内訳(円)		【成果等】
国庫支出金		・準備委員会の設立により、競技会開催の準備及び大会運営を行う体制ができた。
県支出金		・啓発事業を通して、全国の選手や関係者への周知、市民への広報に取り組んだ。
地方債		・大会運営・会場視察を通して、開催市担当職員と意見交換するなど、会場準備や広報、おもてなしに必要な情報収集を行った。
その他		
一般財源	9,990,166	
【会計区分】 一般会計		【今後の課題】
		・準備業務が膨大かつ多岐にわたるため、早い段階から計画的に取り組むことが必要である。
		・市民の関心や参加意欲を高めるため、計画的かつ効果的な広報活動の展開が求められる。
		・競技団体、共催市及び関係機関との連携・協力が不可欠であるため、情報共有や意思疎通を図り開催準備を進める。

基本目標3 支えあいかわり合い、誰もが健康で活躍するまち

事業名	胃内視鏡検診事業	担当課名	健康推進課
-----	----------	------	-------

事業費		主要な施策の成果等
決算額(円)		【事業目的】
4,158,961		胃がんによる死亡者を減少させるため、胃がんの早期発見・早期治療につなげられるよう胃内視鏡検診を実施する。
節別内訳(円)		【実績】
報酬	1,126,000	(1) 受診者数、要精密検査者数等
給料、職員手当等		申込者数(A) 317人
報償費	12,600	受診者数(B) 212人
旅費		受診率(B/A*100) 66.9%
需用費	26,400	要精密検査者数(率) 20人(9.4%)
役務費		精密検査受診者数(率) 20人(100%)
委託料	2,872,961	胃がんの発見 0人
使用料及び賃借料		(2) 偶発症* 報告なし ※内視鏡操作による穿孔や裂創、生検に伴う出血、経鼻内視鏡検査による鼻出血等
工事請負費		【成果等】
原材料費		胃がん検診の選択肢が増えたことで、受診機会の拡大につながった。また、胃内視鏡検査では、直接胃の粘膜を観察できるため、より精密な検査が可能であり、病変があった場合はその場で生検し病理検査を行うことで、より早期の治療方針の決定に寄与することができる。
公有財産購入費		【今後の方向性】
備品購入費		受診率向上のため、SNS等による受診勧奨を行い、受診者数の増加につなげる。 ひき続き千曲医師会、検査実施医療機関、長野県健康づくり事業団と連携し、精度管理を行う。
負担金、補助及び交付金	121,000	
扶助費		
補償、補填及び賠償金		
公課費		
財源内訳(円)		
国庫支出金		
県支出金		
地方債		
その他		
一般財源	4,158,961	
【会計区分】 一般会計		

基本目標3 支えあいかわり合い、誰もが健康で活躍するまち

事業名	ペアレントトレーニング事業	担当課名	福祉課
-----	---------------	------	-----

事業費		主要な施策の成果等																					
決算額(円)		【事業目的】																					
95,600		障がい特性のある子を持つ保護者に対し、子どもの特性に合った関わり方を学ぶ「ペアレントトレーニング」事業を実施する。																					
節別内訳(円)		また、次年度から本事業を更に推進するために、市職員（正規職員及び会計年度任用職員）がペアレントトレーナー養成講座を受講する。																					
報酬		【実績】																					
給料、職員手当等		○ペアレントトレーニング（ペアレントサポート講座）																					
報償費	57,600	・講師：藤井佳子（ペアレントトレーナー養成講座修了者）																					
旅費		・参加対象者：現あすなろ園通園者及び小学校入学前のあすなろ園卒園者の保護者																					
需用費		・講座内容																					
役務費		<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>期日</th> <th>講座内容</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6月18日</td> <td>オリエンテーション・行動で考える</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>7月16日</td> <td>わかりやすいコミュニケーション</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>8月27日</td> <td>良い結果・悪い結果</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>11月5日</td> <td>事前に伝える方法・落ちつくヒント</td> <td>8人</td> </tr> </tbody> </table>		回	期日	講座内容	参加人数	1	6月18日	オリエンテーション・行動で考える	9人	2	7月16日	わかりやすいコミュニケーション	7人	3	8月27日	良い結果・悪い結果	8人	4	11月5日	事前に伝える方法・落ちつくヒント	8人
回	期日	講座内容	参加人数																				
1	6月18日	オリエンテーション・行動で考える	9人																				
2	7月16日	わかりやすいコミュニケーション	7人																				
3	8月27日	良い結果・悪い結果	8人																				
4	11月5日	事前に伝える方法・落ちつくヒント	8人																				
委託料		※講座時間 9時30分～11時00分																					
使用料及び賃借料		欠席者には後日個別に講座内容の伝達を実施した。																					
工事請負費		○ペアレントトレーナー養成事業																					
原材料費		・webによるペアレントトレーナー養成講座を市職員2名が受講。（正規保育士・あすなろ園会計年度任用職員）																					
公有財産購入費		・全4回（7月20日～毎週土曜日 9時30分～12時00分）																					
備品購入費		【成果等】																					
負担金、補助及び交付金	38,000	○講座終了後のアンケートから、本講座を実施したことにより、保護者が障がい特性のある子どもに対し適切な接し方を身に付け、子どもが安定した生活を送れるようになったようである。																					
扶助費		○障がい特性のある子どもの生活環境を早期に整えることにより、強度行動障害などの二次障害の軽減・防止が期待される。																					
補償、補填及び賠償金		【今後の方向性】																					
公課費		○乳幼児健診などの結果をもとに、本来本講座を受けることが望ましい保護者へのアプローチなどに取り組む。																					
財源内訳(円)																							
国庫支出金	28,000																						
県支出金																							
地方債																							
その他																							
一般財源	67,600																						
【会計区分】 一般会計																							

基本目標3 支えあいかわり合い、誰もが健康で活躍するまち

事業名	戸倉体育館整備事業	担当課名	公民共創推進室
-----	-----------	------	---------

事業費		主要な施策の成果等
決算額(円)		【事業目的】 ○令和4年度に策定した「千曲市総合運動公園基本構想」に基づき、令和6年7月に戸倉体育館エリアの基本計画策定、新体育馆を令和10年開催予定の国民スポーツ大会に間に合わせるよう計画する。新体育馆建設後には既存体育馆を解体し、市民要望のある新野球場の整備を通して、市民利用だけでなく合宿等での利用も見込んだ新たな拠点づくりを進める。
64,348,912		
節別内訳(円)		【実績】 ○総合運動公園整備事業 ・戸倉体育館エリア基本計画策定支援業務委託 ※R5 繰越 契約先／契約額：(株)KRC／10,197,000円 ・戸倉体育館敷地測量業務委託 ※R5 繰越 契約先／契約額：(株)協同測量社千曲営業所／4,286,200円 ・新戸倉体育館建設に係るアドバイザリー業務委託 契約先／契約額：みずほリサーチ＆テクノロジーズ・KRC 共同企業体／52,800,000円 (R6支払分 15,840,000円) ・戸倉体育館地質調査業務委託 ※R5 繰越 契約先／契約額：(株)東洋コサルタント千曲営業所／4,664,000円 ・都市計画決定等検討支援業務委託 (交付金申請基礎資料) 契約先／契約額：(株)KRC／4,290,000円 ・市道1-20号線ほか測量設計業務委託 契約先／契約額：(株)フジテック千曲営業所／7,532,800円 ・民有地不動産鑑定業務 契約先／契約額：(株)西入不動産鑑定事務所／495,000円 ・議会特別委員会行政視察随行 (東京都立川市、品川区) ・体育館整備・運営事業者選定審査委員会の設置 ・PFI研修負担金 7,700円
報酬	30,000	
給料、職員手当等	16,890,000	
報償費		
旅費	116,212	
需用費		
役務費		
委託料	47,305,000	
使用料及び賃借料		
工事請負費		
原材料費		
公有財産購入費		
備品購入費		
負担金、補助及び交付金	7,700	
扶助費		
補償、補填及び賠償金		
公課費		
財源内訳(円)		【成果】 ○整備計画のスケジュールに沿い、基本計画策定、事業者説明会、住民説明会を行い、12月に事業者募集（公募公告等）の手続きを進めた。 ○アドバイザリー業務については、事業者ヒアリング中心に募集要項、要求水準書、契約内容等の検討を行った。
国庫支出金		
県支出金		
地方債		
その他		
一般財源	64,348,912	【課題等】 ○限られた期間、予算の中で、物価や人件費高騰に対応しながら、確実な体育馆建設につなげられるよう、参加意欲のある事業者等と協議を進める。 ○令和7年7月にプロポーザルによる事業者選定審査を行い、9月に議決を経て契約を行い、着実に事業を進める。 ○地域の重要な防災拠点（避難所、輸送拠点）としての機能、省エネ、誰もが使いやすい施設を目指す。
【会計区分】 一般会計		

基本目標3 支えあいかわり合い、誰もが健康で活躍するまち

事業名	福祉医療費給付事業（精神障がい者）	担当課名	健康推進課
-----	-------------------	------	-------

事業費		主要な施策の成果等
決算額(円)		【事業目的】
451,926,356		精神障がい者の福祉医療費について、これまで通院分のみを給付対象としていたが、「精神障害者保健福祉手帳1級・2級」及び「20歳以上国民年金別表該当（1級10号・2級16号）」資格保持者については、所得制限や資格の取得要件を緩和し、令和6年8月診療分から入院分も給付対象とすることで、一層の経済的負担の軽減を図る。
節別内訳(円)		【実績】
報酬		対象者数（資格所持者数）
給料、職員手当等	20,268,000	精神障害者保健福祉手帳1級 307人 精神障害者保健福祉手帳2級 299人 20歳以上国民年金別表該当 100人
報償費		給付件数（入院分）
旅費		精神障害者保健福祉手帳1級 79件 精神障害者保健福祉手帳2級 28件 20歳以上国民年金別表該当 5件
需用費	225,940	給付額（入院分）
役務費	25,911,701	精神障害者保健福祉手帳1級 2,735,429円 精神障害者保健福祉手帳2級 1,159,174円 20歳以上国民年金別表該当 231,956円
委託料	1,045,000	【成果等】
使用料及び賃借料		対象者の家計における医療費の負担を軽減した。
工事請負費		【今後の方向性】
原材料費		入院分は県補助対象外のため市の財政負担が増加しており、また、過剰受診や多受診等が増加し、医療費増大や医療機関の負担増も懸念されているが、国や近隣市町村の動向を注視し、医療費の負担軽減に向けた対応策を模索していきたい。
公有財産購入費		
備品購入費		
負担金、補助及び交付金		
扶助費	403,572,125	
補償、補填及び賠償金		
公課費		
貸付金	903,590	
財源内訳(円)		
国庫支出金		
県支出金	162,822,000	
地方債		
その他	26,575,218	
一般財源	262,529,138	

*決算額は福祉医療全体の額

【会計区分】 一般会計

基本目標3 支えあいかわり合い、誰もが健康で活躍するまち

事業名	生活支援体制整備事業	担当課名	高齢福祉課
-----	------------	------	-------

事業費		主要な施策の成果等
決算額(円)		【事業目的】 ○高齢者が可能な限り住み慣れた地域で生活ができるよう、地域における生活支援・介護予防サービスの基盤づくりを進めていく。
21,797,500		
節別内訳(円)		【実績】 ○第1層及び第2層生活支援コーディネーターの配置 ・第1層 市全体： 3名 ・第2層 5圏域： 10名
報酬		
給料、職員手当等	3,659,500	
報償費		
旅費		
需用費		
役務費		
委託料	18,138,000	
使用料及び賃借料		
工事請負費		
原材料費		
公有財産購入費		
備品購入費		
負担金、補助及び交付金		
扶助費		
補償、補填及び賠償金		
公課費		
財源内訳(円)		
国庫支出金	6,983,130	○各圏域（地域）の主な活動内容 ・更埴川東…介護予防につながるラジオ体操サロンを週1回継続して実施した。屋代5区のみずく団地から始まったラジオ体操が波及し、現在では更埴川東圏域内で3地区がラジオ体操サロンを定期的に開催している。
県支出金	3,491,565	・埴生…サロン運営者を対象としたサロンリーダー交流会を開催し、サロン運営者同士の意見交換の場を提供した。
地方債		・更埴川西…「お買い物市場」「お買い物バスツアー」を開催し、移動困難者に対する支援事業を行った。
その他	4,171,740	・戸倉…圏域外のコーディネーターと協力して「介護予防デイスコ」を開催し、フレイル予防の事業を行った。
一般財源	7,151,065	・上山田…サロンにおいて、デマンド型乗合タクシー利用登録会と体験会を実施した。
【会計区分】 特別会計 (特別会計の名称:介護保険特別会計)		【成果等】 ○各生活支援コーディネーターが、各圏域（地域）や市の状況等を踏まえながら様々な団体と連携して取組みを行い、引き続き生活支援・介護予防サービスの基盤づくりを進めることができた。
		【今後の方向性】 ○住民参加型の市民フォーラム・ワークショップ等を開催する中で、地域住民の協力者を増やしていく、地域の課題やニーズの解決策などを住民同士で話し合う場（2層協議体）を全圏域に設置する。（現在、更埴川西・上山田の2箇所）

基本目標4 千曲市の特色を磨き上げ、賑わいと活力あるまち

事業名	サテライトオフィス等開設支援事業	担当課名	商工課
-----	------------------	------	-----

事業費		主要な施策の成果等
決算額(円)		【事業目的】
8,252,000		国が進める「転職なき移住」を実現し、地方への新たな人の流れを創出するため、デジタル田園都市国家構想交付金を活用し、サテライトオフィスの開設を支援する。 また、サテライトオフィスに進出する県外企業に進出支援金を交付し、県外からの企業誘致に取り組む。
報酬		
給料、職員手当等	2,252,000	
報償費		
旅費		
需用費		
役務費		
委託料		
使用料及び 賃借料		
工事請負費		
原材料費		
公有財産 購入費		
備品購入費		
負担金、補助 及び交付金	6,000,000	○サテライトオフィス等開設支援事業補助金 ・サテライトオフィス等開設支援事業補助金 1件 3,750,000円 ・サテライトオフィス進出支援金 3件 2,250,000円 ○サテライトオフィス進出企業 5社 (うち県外企業4社)
扶助費		
補償、補填 及び賠償金		
公課費		
財源内訳(円)		【成果等】
国庫支出金	4,000,000	○サテライトオフィス等開設支援事業補助金にて、屋代駅前に「萬屋ビルディングサテライトオフィス（総部屋数：7）」の開設を支援した。
県支出金		○令和6年度は、施設の改修が主で3月からの入居開始にも関わらず、進出企業が5社（うち県外企業が4社）入居し、国（内閣府）へ提出した令和6年度末のKPI（進出企業2社（うち県外企業1社））を上回った。
地方債		
その他		
一般財源	4,252,000	
【会計区分】 一般会計		【今後の方向性】
		○サテライトオフィスの空室の2室については、引き続き県外企業を中心に誘致を行う。 ○進出企業同士及び進出企業と地元企業をマッチングするなどにより新事業を創出し、市内経済の循環の活性化を図る。

基本目標4 千曲市の特色を磨き上げ、賑わいと活力あるまち

事業名	シェアサイクル運営促進事業	担当課名	観光課
-----	---------------	------	-----

事業費		主要な施策の成果等																																					
決算額(円)		【事業目的】																																					
12,120,780		○観光振興計画に基づく観光基盤整備の充実(地域資源への交通手段の確保等)を図るとともに、自転車活用推進計画による自転車を活用した地域の活性化や市民生活の質の向上のほか、千曲市環境基本計画による脱炭素社会の実現に向けた取組を実施する。																																					
報酬		【実績】																																					
給料、職員手当等	2,815,000	○運営期間: R6.3.20～R6.12.1 ○自転車台数: 40台 ○ポート数: 10ポート(【常設】総合観光会館A・B、戸倉駅駐輪場、千曲駅駐輪場、屋代駅駐輪場、千曲市役所、【臨時】あんずの里観光会館、アートまちかど、南長野運動公園、森将軍塚古墳館) ○利用状況																																					
報償費		<table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>利用者数</th> <th>利用回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3月</td> <td>49</td> <td>69</td> </tr> <tr> <td>4月</td> <td>185</td> <td>213</td> </tr> <tr> <td>5月</td> <td>202</td> <td>253</td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>199</td> <td>232</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>141</td> <td>169</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>189</td> <td>222</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>192</td> <td>218</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>170</td> <td>211</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>165</td> <td>225</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>6</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,498</td> <td>1,821</td> </tr> </tbody> </table>		月	利用者数	利用回数	3月	49	69	4月	185	213	5月	202	253	6月	199	232	7月	141	169	8月	189	222	9月	192	218	10月	170	211	11月	165	225	12月	6	9	計	1,498	1,821
月	利用者数	利用回数																																					
3月	49	69																																					
4月	185	213																																					
5月	202	253																																					
6月	199	232																																					
7月	141	169																																					
8月	189	222																																					
9月	192	218																																					
10月	170	211																																					
11月	165	225																																					
12月	6	9																																					
計	1,498	1,821																																					
旅費		○その他: AC長野パルセイロと連携した広報活動																																					
需用費		【成果等】																																					
役務費		○利用者アンケート(回答数: 145件)より、約6割が「観光」目的での利用となっており、観光基盤整備に寄与できた。 ○GPS調査より、昨年度と比較して滞留箇所が増加したことから、市内での回遊性向上が図れた。 ○AC長野パルセイロと連携することなどにより、シェアサイクルの認知度向上に繋がった。 ○テレビ報道1件、市公式SNSでのシェアサイクル関連投稿閲覧数(R7.1月時点): X 48,253、Facebook 4,942																																					
委託料	9,305,780	○臨時ポート設置等による需要の掘り起こしを調査し、サイクルポートの増設等の検討、利便性の向上及び利用者増加へ向けた検討・運用を実施する。																																					
使用料及び賃借料		【今後の方向性】																																					
工事請負費																																							
原材料費																																							
公有財産																																							
購入費																																							
備品購入費																																							
負担金、補助及び交付金																																							
扶助費																																							
補償、補填及び賠償金																																							
公課費																																							
財源内訳(円)		【会計区分】 一般会計																																					
国庫支出金																																							
県支出金																																							
地方債																																							
その他	9,305,000																																						
一般財源	2,815,780																																						

基本目標4 千曲市の特色を磨き上げ、賑わいと活力あるまち

事業名	シティプロモーション推進事業	担当課名	秘書広報課
-----	----------------	------	-------

事業費		主要な施策の成果等
決算額(円)		【事業目的】
17,754,208		○千曲市を舞台としたアニメーション作品を活用したシティプロモーションで市の魅力を発信し、観光誘客を図る。 ○PR大使等を活用した市の魅力や情報の発信により、市の認知度向上を図る。
節別内訳(円)		【実績】
報酬		①TVアニメTurkey!を活用した事業 ○シティドレッシング事業 ・上山田温泉中央通りやぐら大型懸垂幕設置 ・上山田文化会館ガラスラッピング ・屋代駅市民ギャラリー大型懸垂幕設置 ・戸倉駅出入口横断幕設置 ・市役所ガラスラッピング ○各種広報チラシ等作成・配布 ・ポスター、ステッカー、のぼり旗制作、チラシ配布 etc ○ラッピングバス制作 ・お披露目式3月8日、同日運行開始
給料、職員手当等	6,193,000	②PR大使事業 ○吉本興業株所属「鬼越トマホーク」を起用した動画を制作し、YouTubeで公開。また、令和4年より公開されている関連動画の公開期間を延長。継続して市の魅力を発信。 また、市が関係するイベントへの出演により、市内外に向けたPR活動を実施。
報償費		【成果等】
旅費	95,340	①TVアニメ「Turkey!」を活用した事業 ○シティドレッシングにより、市を舞台にしたアニメを広く周知でき、認知度の向上、機運醸成につながった。 ②千曲市PR大使「鬼越トマホーク」による事業 ○日本遺産をテーマに作成したYouTube動画「ぶらちく」は、前編後編で5.2万回の再生数となっている。 ○PR大使として市内外のイベントに4件出演。いずれのイベントでも大勢の方へPRできた。 イベント：おばすて観月祭、ムサコマルシェ、千曲川ハーフマラソン、成人式
需用費	160,993	
役務費		
委託料	11,249,875	
使用料及び 賃借料		
工事請負費		
原材料費		
公有財産 購入費		
備品購入費		
負担金、補助 及び交付金	55,000	
扶助費		
補償、補填 及び賠償金		
公課費		
財源内訳(円)		【今後の方向性】
国庫支出金		○アニメ放送開始に向けて、更に認知度向上を図るとともに、放送開始を契機に、市内に訪れるような施策を実施していく必要がある。
県支出金		○効果的なプロモーションを展開できるように、委託先関係者等とも協議しながら行っていく。
地方債		
その他	1,420,000	
一般財源	16,334,208	
【会計区分】 一般会計		

基本目標4 千曲市の特色を磨き上げ、賑わいと活力あるまち

事業名	自動化・省力化等生産性向上事業	担当課名	商工課
-----	-----------------	------	-----

事業費		主要な施策の成果等
決算額(円)		【事業目的】
12,862,000		中小企業者が、先端設備の導入により自動化・省力化を促進し、生産性の向上と企業における人材不足の解消を図るための助成金を交付する。
節別内訳(円)		【実績】
報酬		○事業認定 8件
給料、職員手当等	1,126,000	○助成金交付 13件、11,736,000円
報償費		
旅費		
需用費		
役務費		
委託料		
使用料及び 賃借料		
工事請負費		
原材料費		
公有財産 購入費		○先端設備導入により、中小企業者は生産性向上が図られるため、企業の競争力強化につながる支援をすることができた。
備品購入費		
負担金、補助 及び交付金	11,736,000	
扶助費		
補償、補填 及び賠償金		
公課費		
財源内訳(円)		【今後の方向性】
国庫支出金		○地方中小企業の人手不足解消のため、生産性向上及び競争力強化に資する支援を引き続き実施していきたい。
県支出金		
地方債		
その他		
一般財源	12,862,000	
【会計区分】 一般会計		

基本目標4 千曲市の特色を磨き上げ、賑わいと活力あるまち

事業名	日本遺産推進事業	担当課名	日本遺産推進室
-----	----------	------	---------

事業費		主要な施策の成果等
決算額(円)		【事業目的】
17,046,866		日本遺産「月の都 千曲」を活用し、地域活性化・観光振興を図ることを目的に、千曲市日本遺産推進協議会を実施主体とし、日本遺産推進事業を進めている。
節別内訳(円)		また、主たる構成文化財である「姨捨 棚田」に近接する日本遺産センターの管理運営・観光案内を行っている。
報酬		【実績】
給料、職員手当等	5,630,000	■日本遺産推進事業 ・「月の都千曲」ガイド養成講座 受講生20名 ・日本遺産三市町連携スタンプラリー 参加者約1,000名 ・日本遺産を巡る探検バスハイク 小学生27名参加 ・姨捨棚田ウォークラリー 小学生参加17名 ・日本遺産関連グッズの製作 ウェットティッシュ、タペストリー、のぼり旗 ・パンフレット The MOON CITY 4,000冊増刷 ・月の都千曲ホームページでの管理と情報発信 ・その他新聞、SNSでの情報発信
報償費		■関連団体連携事業 ・信州さらしな姨捨観月祭 約2,500人 ・お月見をもっと楽しもう！ 学習会25名、撮影会22名。写真展示会 11月～12月末まで ・棚田イルミネーション事業 11月17日～3月14日まで ・戸倉公民館いきいき創造学級 参加者52名 ・ロゲイニング in 月の都千曲 参加者68名 ・おばすて納涼祭り 参加者約850名 ・八十二文化財団企画展参加 2月4日～24日 ・清泉女学院短期大学、埴生中学校との学習連携事業の実施
旅費		■日本遺産センター管理事業 ・市の直営により管理運営・観光案内 ・日本遺産に関連する展示会の開催
需用費	2,484,329	
役務費	9,495	
委託料	1,225,810	
使用料及び 賃借料	569,671	
工事請負費	4,961,000	
原材料費		【成果等】
公有財産 購入費		各種事業を開催し、日本遺産「月の都 千曲」への興味、関心を深めてもらうことができた。次世代を担う子どもたちを対象とした事業では、日本遺産構成文化財を楽しみながら学んでもらい、参加者からはとても好評を得るとともに、日本遺産に興味を持ってもらうことに繋がった。
備品購入費		また、上田市、長和町と連携し開催した「日本遺産三市町連携スタンプラリー」では多くの方に参加いただき、県内の日本遺産への周遊が図れた。
負担金、補助 及び交付金	2,166,561	
扶助費		今後もさらに各世代に適した事業を関係各所と情報共有、連携を図り事業を実施していく。
補償、補填 及び賠償金		
公課費		
財源内訳(円)		
国庫支出金		
県支出金		
地方債		
その他	7,624,689	
一般財源	9,422,177	
【会計区分】 一般会計		

事業名	日本遺産推進事業	担当課名	日本遺産推進室
-----	----------	------	---------

<p>日本遺産センターの来館者数は下記のとおりで、1日当たり 35.8 人で推移している。</p> <table> <tbody> <tr><td>4月</td><td>841 人 (32.3 人／日)</td></tr> <tr><td>5月</td><td>1,596 人 (59.1 人／日)</td></tr> <tr><td>6月</td><td>1,222 人 (47.0 人／日)</td></tr> <tr><td>7月</td><td>1,120 人 (43.1 人／日)</td></tr> <tr><td>8月</td><td>1,023 人 (37.9 人／日)</td></tr> <tr><td>9月</td><td>1,801 人 (72.0 人／日)</td></tr> <tr><td>10月</td><td>1,046 人 (38.7 人／日)</td></tr> <tr><td>11月</td><td>930 人 (35.8 人／日)</td></tr> <tr><td>12月</td><td>339 人 (14.1 人／日)</td></tr> <tr><td>1月</td><td>246 人 (10.3 人／日)</td></tr> <tr><td>2月</td><td>232 人 (10.1 人／日)</td></tr> <tr><td>3月</td><td>588 人 (22.6 人／日)</td></tr> </tbody> </table> <p>【今後の方向性】</p> <p>地域関連団体や庁内関係課とより連携をとりながら、様々な事業を日本遺産推進事業に位置付けて実施する必要がある。また、他の日本遺産認定地域との情報交換等を積極的に行い、各種イベントの企画、行事の開催に生かしていくことで広域連携を図る。</p> <p>日本遺産センターの来館者動向を見極めながらセンターの適切な管理運営を行っていく。</p> <p>日本遺産を観光資源とし、観光客の増加が図れるよう観光PRと合わせた周知啓発活動を進めていく。</p>	4月	841 人 (32.3 人／日)	5月	1,596 人 (59.1 人／日)	6月	1,222 人 (47.0 人／日)	7月	1,120 人 (43.1 人／日)	8月	1,023 人 (37.9 人／日)	9月	1,801 人 (72.0 人／日)	10月	1,046 人 (38.7 人／日)	11月	930 人 (35.8 人／日)	12月	339 人 (14.1 人／日)	1月	246 人 (10.3 人／日)	2月	232 人 (10.1 人／日)	3月	588 人 (22.6 人／日)
4月	841 人 (32.3 人／日)																							
5月	1,596 人 (59.1 人／日)																							
6月	1,222 人 (47.0 人／日)																							
7月	1,120 人 (43.1 人／日)																							
8月	1,023 人 (37.9 人／日)																							
9月	1,801 人 (72.0 人／日)																							
10月	1,046 人 (38.7 人／日)																							
11月	930 人 (35.8 人／日)																							
12月	339 人 (14.1 人／日)																							
1月	246 人 (10.3 人／日)																							
2月	232 人 (10.1 人／日)																							
3月	588 人 (22.6 人／日)																							

基本目標4 千曲市の特色を磨き上げ、賑わいと活力あるまち

事業名	新規就農者支援事業	担当課名	農林課
-----	-----------	------	-----

事業費		主要な施策の成果等
決算額(円)		【事業目的】
7,780,000		次世代を担う農業者の確保・育成により、深刻な担い手不足の解消と荒廃農地の再生利用を図り、持続可能な農業の実現を目指す。国の新規就農者育成総合対策（就農準備資金・経営開始資金）と市単独補助により就農準備段階から就農後の安定化まで一貫した支援を行う。
報酬		【実績】
給料、職員手当等	2,252,000	▽就農相談実績 ・相談件数 18件 うち1件が新規就農者認定に向けた研修に移行、うち2件が次年度就農予定
報償費		▽農業次世代人材投資事業補助金（決算額3,000千円） ・経営開始型資金 2名 3,000,000円
旅費		▽食料農業農村基本計画事業補助金（決算額2,528千円） ・農業用機械取得費補助金 6件 1,992,000円 ・農業後継者支援補助金 2件 500,000円 ・就農研修費用補助金 1件 36,000円
需用費		
役務費		
委託料		
使用料及び 賃借料		
工事請負費		
原材料費		
公有財産		
購入費		
備品購入費		
負担金、補助 及び交付金	5,528,000	【成果等】 ・就農相談を経て、新たに1名の新規就農予定者が農業研修へ移行した。 ・これまでに認定された新規就農者も青年等就農計画に沿つて順調に農業経営を維持している。
扶助費		
補償、補填 及び賠償金		
公課費		
財源内訳(円)		【今後の方向性】 農業への関心が高まりつつあり、就農相談件数は増加傾向にあるが、経営目標（所得目標2,500千円）を達成し、安定的な農業経営を維持していくためには、生産効率の高い農地の確保が必要となる。農業委員会等と連携し就農希望者に対して農地情報を提供できる仕組みの構築が課題となる。
国庫支出金		
県支出金	3,000,000	
地方債		
その他	2,528,000	
一般財源	2,252,000	
【会計区分】 一般会計		

基本目標4 千曲市の特色を磨き上げ、賑わいと活力あるまち

事業名	移住定住促進事業	担当課名	ふるさと振興課
-----	----------	------	---------

事業費		主要な施策の成果等																																																	
決算額(円)		【事業目的】																																																	
19,418,038		○千曲市への移住者・移住検討者を増加させるため、移住定住相談会及びセミナーへの出展、市内案内の実施、支援制度の検討を進める。																																																	
節別内訳(円)		【実績】																																																	
報酬	48,000	○ 移住相談会等への出展																																																	
給料、職員手当等	9,571,000	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月日</th> <th>イベント名称</th> <th>開催場所</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5/11</td> <td>楽園信州移住セミナー</td> <td>ふるさと回帰センター</td> <td>9組12名</td> </tr> <tr> <td>6/27</td> <td>千曲市おしゃべり移住サロン</td> <td>銀座NAGANO</td> <td>1組1名</td> </tr> <tr> <td>7/13</td> <td>信州で暮らす、働くフェア</td> <td>東京交通会館12階</td> <td>20組24名</td> </tr> <tr> <td>8/3</td> <td>テーマから探す移住フェア</td> <td>東京交通会館12階</td> <td>21組</td> </tr> <tr> <td>8/23</td> <td>楽園信州移住セミナー</td> <td>オンライン(Zoom)</td> <td>11組12名</td> </tr> <tr> <td>8/25</td> <td>楽園信州移住セミナー個別相談会</td> <td>銀座NAGANO</td> <td>1組1名</td> </tr> <tr> <td>8/25</td> <td>ぐるっとながの移住セミナー</td> <td>ふるさと回帰センター</td> <td>12組17名</td> </tr> <tr> <td>9/21</td> <td>ふるさと回帰フェア</td> <td>東京国際フォーラムホール</td> <td>12組</td> </tr> <tr> <td>10/26</td> <td>ムサコマルシェ一番祭</td> <td>一番通り商店街</td> <td>1組2名</td> </tr> <tr> <td>10/27</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2/1</td> <td>イナコレ (いなか暮らし×collection)</td> <td>シティプラザ大阪</td> <td>21名</td> </tr> </tbody> </table>		月日	イベント名称	開催場所	参加者	5/11	楽園信州移住セミナー	ふるさと回帰センター	9組12名	6/27	千曲市おしゃべり移住サロン	銀座NAGANO	1組1名	7/13	信州で暮らす、働くフェア	東京交通会館12階	20組24名	8/3	テーマから探す移住フェア	東京交通会館12階	21組	8/23	楽園信州移住セミナー	オンライン(Zoom)	11組12名	8/25	楽園信州移住セミナー個別相談会	銀座NAGANO	1組1名	8/25	ぐるっとながの移住セミナー	ふるさと回帰センター	12組17名	9/21	ふるさと回帰フェア	東京国際フォーラムホール	12組	10/26	ムサコマルシェ一番祭	一番通り商店街	1組2名	10/27				2/1	イナコレ (いなか暮らし×collection)	シティプラザ大阪	21名
月日	イベント名称	開催場所	参加者																																																
5/11	楽園信州移住セミナー	ふるさと回帰センター	9組12名																																																
6/27	千曲市おしゃべり移住サロン	銀座NAGANO	1組1名																																																
7/13	信州で暮らす、働くフェア	東京交通会館12階	20組24名																																																
8/3	テーマから探す移住フェア	東京交通会館12階	21組																																																
8/23	楽園信州移住セミナー	オンライン(Zoom)	11組12名																																																
8/25	楽園信州移住セミナー個別相談会	銀座NAGANO	1組1名																																																
8/25	ぐるっとながの移住セミナー	ふるさと回帰センター	12組17名																																																
9/21	ふるさと回帰フェア	東京国際フォーラムホール	12組																																																
10/26	ムサコマルシェ一番祭	一番通り商店街	1組2名																																																
10/27																																																			
2/1	イナコレ (いなか暮らし×collection)	シティプラザ大阪	21名																																																
報償費		※8/23、8/25(ぐるっとながの移住セミナー)のイベントは全体参加者数、それ以外のイベントは千曲市への個別相談があった件数																																																	
旅費	270,666	○千曲市魅力体験ツアー開始 (開催件数) 4件																																																	
需用費	608,311	○オンライン移住相談 1件																																																	
役務費	25,500	○UIJ ターン就業・創業移住支援事業 (申請件数) ・単身3件 ・世帯3件																																																	
委託料	197,120	○UIJ ターン奨学金償還支援事業 (申請件数) 14件																																																	
使用料及び 賃借料	7,700	○千曲市移住者アンケートの実施 (回答件数) 計 157件 電子アンケートでの実施 (4/1~3/31)																																																	
工事請負費		○千曲市移住・定住支援サイト「ちくま、つく間に。」 移住者ライター 6名任命 (12/10~ 1年間)																																																	
原材料費		○千曲市移住検討ノート「あんずるノート」増刷 800部増刷																																																	
公有財産 購入費		○千曲市移住者向けプロモーションパンフレット作成 800部増刷																																																	
備品購入費		【会計区分】 一般会計																																																	
負担金、補助 及び交付金	8,689,741	【成果等】																																																	
扶助費		○昨年度に引き続き、東京都内で開催された移住フェアに千曲市単独でブースを出展し、相談に訪れた方で、後日実際に千曲市を訪問された方がいた。																																																	
補償、補填 及び賠償金		○千曲市の移住促進専用ホームページを新たに開設し、記者会																																																	
公課費																																																			
財源内訳(円)																																																			
国庫支出金																																																			
県支出金	4,200,000																																																		
地方債																																																			
その他																																																			
一般財源	15,218,038																																																		

事業名	移住定住促進事業	担当課名	ふるさと振興課
-----	----------	------	---------

	<p>見て報道発表を行った結果、複数の新聞社が記事として取り上げてくれ、ホームページへのアクセスが増加した。</p> <p>○新たなホームページに顧客管理機能を導入することで、問い合わせがあつた方の追跡調査が可能となり、定期的な情報提供やフォローを行うことができた。</p> <p>○千曲市に実際に移住された方を「移住者ライター」に任命し、月に1~2回の頻度でブログ記事を作成・発信し移住者目線で当市の魅力を伝える取り組みを進めた。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>○国や県には明確な「移住者」の定義が存在しないため、千曲市では「社会増減率（転入と転出の差）」を移住の動向を把握するためのひとつの指標とします。</p> <p>○移住・定住に関する全国の先進的な事例を調査・分析し、千曲市にとって適切な施策の立案を進めていきます。</p> <p>○移住検討者の傾向をデータから分析し、その結果を踏まえた具体的かつ効果的な移住定住施策を企画・検討していきます。</p>
--	--

基本目標4 千曲市の特色を磨き上げ、賑わいと活力あるまち

事業名	ワイン振興事業	担当課名	農林課
-----	---------	------	-----

事業費		主要な施策の成果等
決算額(円)		【事業目的】 中山間地域の農地を活用したワインぶどう栽培とワイン生産者の連携により地域内循環を創出し、良質なワイン産地の形成と広域的ワインツーリズムによる交流人口の増加を図る。
2,775,000		
節別内訳(円)		【実績】
報酬		▽千曲川ワインバレー特区事業（決算額100千円） ・外国人観光客に対する販売を促進するため、酒類関係者を対象とした免税セミナーを開催
給料、職員手当等	1,689,000	・協議会ホームページにおいて市内ワイナリーや生産者を紹介、各イベント等の情報を発信
報償費		・千曲川ワインバレー周遊イベントとして各地で開催されるワインイベントの共通スタンプラリーを実施、当市は9月14日に開催された観月祭において市内ワイナリーのブースを出展し、この企画に参画
旅費		▽千曲市ワインぶどう研究会事業（決算額100千円） ・しなの鉄道ろくもん停車駅において千曲市産ワインのPRを実施（屋代駅1回、姨捨駅1回）
需用費		・会員が共同で利用する育苗ハウスの管理を実施
役務費		▽ワイン用ぶどう栽培促進事業補助金（決算額886千円） ・ワイン用ぶどう苗木購入補助金 4件 765,000円 ・ワイン用ぶどう圃場整備補助金 1件 121,000円
委託料		
使用料及び 賃借料		
工事請負費		
原材料費		【成果等】
公有財産		・ワインぶどう生産者が市補助金を活用し、圃場の規模拡大を図った。
購入費		・行政の枠を超えた広域的な取り組みにより地域ブランドの形成とワイン関係者の連携強化を図った。
備品購入費		
負担金、補助 及び交付金	1,086,000	
扶助費		
補償、補填 及び賠償金		
公課費		
財源内訳(円)		【今後の方向性】 荒廃農地の解消を目的としてワインぶどう栽培に対する支援を行ってきたが、市内にワイナリーが誕生したこともあり、現在では耕作面積は6.54haまでに増えた。現状でワイナリーが生産するために必要な原料は充足してきていることから、今後さらに拡大を図るためにワイナリーの経営発展が求められる。
国庫支出金		
県支出金		
地方債		
その他	886,000	
一般財源	1,889,000	
【会計区分】 一般会計		

基本目標5 輝かしい歴史文化の伝承と、新たな文化を創造するまち

事業名	文化会館施設整備事業	担当課名	文化課
-----	------------	------	-----

事業費		主要な施策の成果等
決算額(円)		【事業目的】 施設安全対策及び老朽化対策として文化会館及び付帯設備に関する整備・改修を図る。 (主要事業)
624,914,200		1 : 千曲市更埴文化会館 スプリンクラー及び特定天井改修事業 建築主体工事 2 : 千曲市更埴文化会館 スプリンクラー及び特定天井改修事業 電気設備工事 3 : 千曲市更埴文化会館 屋根・外壁改修工事 4 : 上山田文化会館トイレ改修工事
報酬		【実績】
給料、職員手当等	9,571,000	1 : 受注者 中信建設(株) 工期 令和6年5月14日～令和7年2月28日 契約額 278,740,000円 ・スプリンクラー改修工 スプリンクラーヘッド改修 414箇所 メイン配管改修 L=1,875m ・特定天井改修工 A=1,408.2 m ²
報償費		2 : 受注者 (株)峰村電気商会 工期 令和6年6月6日～令和7年2月28日 契約額 110,000,000円 ・スプリンクラー設備更新工事に係る電気設備工事一式 ・特定天井改修工事に係る電気設備工事 一式
旅費		3 : 受注者 長坂建設(株) 工期 令和6年5月14日～令和7年2月28日 契約額 192,390,000円 ・防水シール改修工 L=6,887.4m ・外壁タイル改修工 A=3,837.9 m ²
需用費		4 : 受注者 (株)共栄機械設備 工期 令和6年5月7日～令和6年8月19日 契約額 10,527,000円 ・便器洋式化工事 9箇所 ・照明 LED化工事 11箇所
役務費		【成果等】 ・安全・安心な施設維持管理 ・施設長寿命化に伴う公共の福祉益の増加 ・施設利用に対する利便性向上
委託料	22,421,200	【今後の方向性】 ・文化振興計画等に基づく文化施設の在り方の整理 ・上記を考慮した計画的な改修整備(舞台機構含む)の実施
使用料及び賃借料		
工事請負費	592,922,000	
原材料費		
公有財産		
購入費		
備品購入費		
負担金、補助及び交付金		
扶助費		
補償、補填及び賠償金		
公課費		
財源内訳(円)		
国庫支出金		
県支出金		
地方債	524,900,000	
その他	85,430,000	
一般財源	14,584,200	
【会計区分】 一般会計		

基本目標5 輝かしい歴史文化の伝承と、新たな文化を創造するまち

事業名	重要伝統的建造物群保存推進事業	担当課名	歴史文化財センター
-----	-----------------	------	-----------

事業費		主要な施策の成果等
決算額(円)		
21,717,310		
節別内訳(円)		
報酬		
給料、職員手当等	3,941,000	<p>【事業目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> 重要伝統的建造物群保存地区に選定された、稻荷山地区的伝統的な建造物等の修理、修景事業に補助を行い、環境整備を図る。 令和5年3月策定の「稻荷山重伝建地区まちづくりデザイン」により、稻荷山地区活性化の拠点となる施設の整備を進める。
報償費		
旅費	56,660	
需用費		
役務費		
委託料	475,200	
使用料及び賃借料		
工事請負費		
原材料費		
公有財産購入費		
備品購入費		
負担金、補助及び交付金	17,244,450	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 伝統的建造物等の修理事業として、清水家主屋等、2件の事業に補助を行った。 重伝建の拠点施設として整備を行う方針を定めた「旧米清」の土地を市土地開発公社に依頼し、先行取得を行った。なお、建物については所有者より寄附をいただいた。 川西地区振興連絡協議会の協力をいただき、重伝建選定10周年に併せ、整備の経過報告を行った。(2月15日開催)
扶助費		
補償、補填及び賠償金		
公課費		
財源内訳(円)		
国庫支出金	7,990,000	
県支出金	479,000	
地方債		
その他	2,422,000	
一般財源	10,826,310	
【会計区分】 一般会計		
【今後の方向性】		
<ul style="list-style-type: none"> 重伝建地区の環境整備を図るため、引き続き伝統的建造物等の修理修景事業を進める。 保存計画に掲げた稻荷山地区の活性化を図るために、地区住民の意見を反映した施設整備、活性化策の検討と実施が必要である。 		

基本目標5 輝かしい歴史文化の伝承と、新たな文化を創造するまち

事業名	武水別神社神官松田邸管理運営事業	担当課名	歴史文化財センター
-----	------------------	------	-----------

事業費		主要な施策の成果等
決算額(円)		【事業目的】
14,410,185		○市内に伝來した史資料の収集・保管・調査研究を行い、その成果を企画展や関連事業を通して地域に還元し文化伝承や郷土への愛着の深化を図ると共に、地域の活性化及び市の観光拠点となる施設を目指す。
節別内訳(円)		【実績】
報酬	606,000	[展示・イベント関係]
給料、職員手当等	5,668,973	○年間入館者数 611人（週3日開館） ○松田邸周知のため、6月～8月の隔週土曜日にガイドツアーを実施（参加者延べ13人）
報償費	90,000	○親子連れをターゲットにした七タイイベント（笹かざり・お話し会）を実施（8/2～18。参加者延べ105人（一般・高校生55人、中学生以下50人））
旅費		○購入した武水別神社流出文書を展示する企画展を開催（会期11/22～12/22。会期中入館者94人）
需用費	2,318,583	○企画展関連事業講演会を実施（11/30。参加者31人）
役務費	31,460	○県外古書店に流出した武水別神社関係古文書43点購入
委託料	2,679,053	[施設管理]
使用料及び賃借料	62,316	○松田邸エントランスにつながる道路の舗装工事を実施 ○エントランスにスロープを設置
工事請負費	2,648,800	○県道沿い及び東側堀跡前に誘導サインを設置
原材料費		
公有財産購入費		
備品購入費	275,000	【成果等】
負担金、補助及び交付金	30,000	○七タイイベントは、親子連れの増加や地域住民が触れ合える場となった。 ○地域の古文書流出に対して市民も危機意識を持っていることを確認できた（講演会では当日飛込参加が11人） ○流出古文書を購入し史資料の保全を図ることができた。 ○未舗装から石畳風舗装とすることで、周囲の歴史的景観に調和した街並み環境を整備できた。 ○一部バリアフリー化し、高齢者や車イスの来館者にも配慮することができた。
扶助費		
補償、補填及び賠償金		
公課費		
財源内訳(円)		【今後の方向性】
国庫支出金	1,287,000	○七タイイベントは松田邸の年中行事として定着するよう引き続き進めていく。
県支出金		○アンケート意見等を踏まえ、市民の興味関心を引く企画展を開催し集客につなげる。
地方債	1,100,000	○企画展とは別に自主講座を開講し、市民の学びたい意欲にこたえていけるような施設を目指していく。
その他	136,100	○企画展・イベント共に話題性（大河ドラマや歴史・文化財に関わるニュース等）に留意した企画となるよう努める。
一般財源	11,887,085	
【会計区分】 一般会計		

基本目標5 輝かしい歴史文化の伝承と、新たな文化を創造するまち

事業名	名勝姨捨整備事業	担当課名	歴史文化財センター
-----	----------	------	-----------

事業費		主要な施策の成果等
決算額(円)		【事業目的】
5,754,614		・日本遺産の構成文化財であり、重要文化的景観に選定されている「姨捨の棚田」での耕作を維持、保存するための整備を実施する
節別内訳(円)		【実績】
報酬		・令和4年3月策定の「姨捨の棚田」整備計画に基づき、長尾根地区の管理道（農道）整備を実施した。 長尾根地区測量・実施設計 A=0.15 km ² 管理道（農道）舗装 L=20m
給料、職員手当等	1,689,000	・令和5年8月に発生した棚田畦畔の災害復旧状況について、「姨捨の棚田整備委員会」の現地調査を受け、「概ね妥当」との見解をいただいた。(令和6年8月開催)
報償費	44,100	
旅費	193,514	
需用費		
役務費		
委託料	2,530,000	【成果等】
使用料及び 賃借料		・姨捨の棚田での耕作条件の改善を図ることができ、耕作維持に寄与することができた。
工事請負費	1,298,000	・災害復旧にあたっては、土被の畦畔である特徴を維持する新たな工法について、整備委員会の確認をいただくことができた。
原材料費		
公有財産 購入費		
備品購入費		【今後の方向性】
負担金、補助 及び交付金		・姨捨の棚田での耕作を維持し、日本遺産の構成文化財として保存・活用を図るため、関係各課と連携し、整備計画に基づいた事業を実施していく。
扶助費		・長尾根地区管理道整備は令和7年度も引き続き実施し、耕作条件の緩和を図る。
補償、補填 及び賠償金		・日本遺産の構成文化財として活用を図るため、展望駐車場（ビューポイント）整備事業を進めて行く。
公課費		
財源内訳(円)		
国庫支出金	1,914,000	
県支出金	114,000	
地方債	1,700,000	
その他		
一般財源	2,026,614	
【会計区分】 一般会計		

基本目標5 輝かしい歴史文化の伝承と、新たな文化を創造するまち

事業名	国際都市交流事業	担当課名	生涯学習課
-----	----------	------	-------

事業費		主要な施策の成果等
決算額(円)		
563,000		
節別内訳(円)		
報酬		【事業目的】 2020年東京オリンピック・パラリンピックでのホストタウン事業を継続・発展するため、30年来の交流を続けてきたハンガリーとの友好交流事業を市民との協働により展開する。
給料、職員手当等	563,000	
報償費		【実績】 ハンガリーにゆかりのある音楽家のコンサートを開催する団体に対して後援することで、音楽や文化を紹介するイベントを支援した。
旅費		
需用費		
役務費		令和6年6月13日 「金子三勇士 日本=ハンガリー未来プロジェクト in 千曲 チャリティコンサート Vol. 1」が Raum 戸倉宿ホール昭和蔵で開催された。観客130名が来場した。
委託料		
使用料及び賃借料		
工事請負費		令和6年9月28日 「ハンガリーワイン&音楽の夕べ 2024」が上山田文化会館ホワイエで開催された。
原材料費		
公有財産購入費		
備品購入費		【成果等】 ハンガリーを中心に活躍する国際的な音楽家によるコンサートを通じて、市民のハンガリーに対する理解が深まった。
負担金、補助及び交付金		
扶助費		来場した市民が音楽やワインを通じてハンガリーの文化・芸術を体験し交流することができた。
補償、補填及び賠償金		
公課費		
財源内訳(円)		【今後の方向性】 今後も市民レベルの交流に対して後援等で協力をしていく。
国庫支出金		
県支出金		
地方債		
その他		
一般財源	563,000	
【会計区分】 一般会計		

基本目標6 未来に繋げる自然と共生するまち

事業名	公園施設整備事業	担当課名	都市計画課
-----	----------	------	-------

事業費		主要な施策の成果等
決算額(円)		【事業目的】
61,737,400		令和4年度に策定した千曲市公園施設長寿命化計画に基づき、公園利用者の安全確保及び公園施設のライフサイクルコスト縮減を目的とし、公園施設の更新を行う。
節別内訳(円)		【実績】
報酬		○令和6年度 防安 公園施設長寿命化対策事業 稲荷山公園遊具更新工事 工期：令和6年8月26日～令和6年12月6日 契約額：11,484,000円、受注者：有限会社 酒井組
給料、職員手当等	3,378,000	○令和6年度 防安 公園施設長寿命化対策事業 五十里公園遊具更新工事 工期：令和6年8月28日～令和6年12月11日 契約額：19,877,000円、受注者：有限会社 横山土建
報償費		○令和6年度 防安 公園施設長寿命化対策事業 中村池公園ほか 遊具更新工事 工期：令和6年9月2日～令和6年11月22日 契約額：2,948,000円、受注者：西小寺建設 株式会社
旅費		○令和6年度 防安 公園施設長寿命化対策事業 北堀公園滑り台更新工事 工期：令和6年8月29日～令和6年11月22日 契約額：4,444,000円、受注者：株式会社 ヤナギサワ
需用費		○令和6年度 防安 公園施設長寿命化対策事業 上山田南部公園 滑り台更新工事 工期：令和6年10月1日～令和7年1月24日 契約額：6,329,400円、受注者：有限会社 竹内商会
役務費		○令和6年度 公園施設長寿命化対策事業 科野の里ふれあい公園 キャンドルポンプ更新工事 工期：令和6年6月4日～令和6年7月5日 契約額：1,287,000円、受注者：伊東産業株式会社 長野支店
委託料		○令和6年度 公園施設長寿命化対策事業 科野の里ふれあい公園 塩素注入設備設置工事 工期：令和6年12月4日～令和7年3月26日 契約額：11,990,000円、受注者：伊東産業株式会社 長野支店
使用料及び賃借料		【成果等】
工事請負費	58,359,400	公園の目玉である複合遊具や滑り台の更新により、利用者の安全、公園の魅力増進が図れる。また、更新時に時代のニーズに合わせたインクルーシブ遊具（障がいの有無にかかわらず誰もが安心して利用できる遊具）などを採用することで幅広い利用者の増加に寄与する。
原材料費		【今後の方向性】
公有財産購入費		引き続き千曲市公園施設長寿命化計画に基づき公園施設の計画的な更新を行う。
備品購入費		
負担金、補助及び交付金		
扶助費		
補償、補填及び賠償金		
公課費		
財源内訳(円)		
国庫支出金	20,000,000	
県支出金		
地方債	29,700,000	
その他		
一般財源	12,037,400	
【会計区分】 一般会計		

基本目標6 未来に繋げる自然と共生するまち

事業名	太陽光発電等設置補助事業	担当課名	環境課
-----	--------------	------	-----

事業費		主要な施策の成果等
決算額(円)		【事業目的】
7,926,000		自家消費型再生可能エネルギーの活用推進を図るため、住宅用太陽光発電システムと蓄電システム、V2H充放電システムの設置者に対し、補助金を交付する。
節別内訳(円)		購入及び設置に関する費用の1/10を補助対象率とし、
報酬		・V2H充放電システム設置（限度額5万円）
給料、職員手当等	1,126,000	・発電システム、V2H充放電システムの同時設置 蓄電システム設置（限度額10万円）
報償費		・蓄電およびV2H充放電システムの同時設置 発電および蓄電システムの同時設置（限度額15万円）
旅費		・発電、蓄電、V2H充放電システム設置 (限度額20万円)
需用費		に補助を行っている。 V2H充放電システム設置への補助は令和6年度から。
役務費		
委託料		
使用料及び賃借料		
工事請負費		
原材料費		【実績】
公有財産		補助金交付の実績
購入費		・交付件数 : 54 件
備品購入費		・交付総額 : 6,800,000円
負担金、補助及び交付金	6,800,000	
扶助費		
補償、補填及び賠償金		【成果等】
公課費		千曲市既存住宅エネルギー自立化補助金制度により、市民の自家消費型再生可能エネルギー活用への関心が高まり、地球温暖化対策への意識が高まった。
財源内訳(円)		
国庫支出金		
県支出金		
地方債		
その他		
一般財源	7,926,000	
【会計区分】 一般会計		【今後の方向性】
		[2050年ゼロカーボン宣言]に伴い、本制度のさらなる推進が必要であると考える。

基本目標6 未来に繋げる自然と共生するまち

事業名	白鳥園多目的広場整備事業	担当課名	市民生活課
-----	--------------	------	-------

事業費		主要な施策の成果等
決算額(円)		【事業目的】
94,480,400		白鳥園南側の多目的広場において、芝生広場を中心に植栽を行い、ピクニック、散歩、ウォーキングなど子育て・健康増進など意識した「憩いの場」「多世代が集い交流できる場」を創出し白鳥園と相乗的な効果となるよう整備する。
報酬	節別内訳(円)	【実績】
給料、職員手当等	1,689,000	<ul style="list-style-type: none"> 白鳥園多目的広場整備工事 請負業者：更埴建設株 当初契約：128,843,000円（税込） 変更契約：4,851,000円（税込） 契約金額：133,694,000円（税込） 前払金：51,500,000円（R5） 完了後：82,194,000円（R6） 契約日：令和5年10月23日 工期：令和5年10月23日～令和6年7月17日
報償費		<ul style="list-style-type: none"> 白鳥園多目的広場張芝工事 請負業者：樹石園 契約金額：2,840,200円（税込） 契約日：令和6年9月3日 工期：令和6年9月3日～令和6年11月15日
旅費		<ul style="list-style-type: none"> 白鳥園多目的広場張芝工事 第1工区 請負業者：更埴造園株 契約金額：4,119,500円（税込） 契約日：令和7年2月18日 工期：令和7年2月18日～令和7年3月21日
需用費		<ul style="list-style-type: none"> 白鳥園多目的広場張芝工事 第2工区 請負業者：樹石園 契約金額：3,637,700円（税込） 契約日：令和7年2月18日 工期：令和7年2月18日～令和7年3月21日
役務費		
委託料		
使用料及び賃借料		
工事請負費	92,791,400	
原材料費		
公有財産購入費		
備品購入費		
負担金、補助及び交付金		
扶助費		
補償、補填及び賠償金		
公課費		
財源内訳(円)		【成果等】
国庫支出金		広場を利用したイベント等が開催され、多くの人に訪れていただいている。白鳥園との相乗効果による賑わいの創出が期待できる。
県支出金		
地方債		
その他	39,522,000	【今後の方向性】
一般財源	54,958,400	平成24年から市民と進めてきた「新白鳥園」が概ね具体化した。広場管理に市民グループが参画するなど、白鳥園と共に市民に愛される「憩いの場」を目指す。 令和8年度からは指定管理に広場管理運営業務を組み込むことにより、市民ニーズにあった運営や民間需要が参入できるような体制を整え、市民に親しまれ、市民と育む施設にしていく。
【会計区分】 一般会計		

基本目標6 未来に繋げる自然と共生するまち

事業名	かわまちづくり事業	担当課名	都市計画課
-----	-----------	------	-------

事業費		主要な施策の成果等
決算額(円)		【事業目的】 令和5年3月に策定された千曲市総合運動公園基本構想に基づき、構想内で規定する3エリアの内の河川敷エリアにおいて、エリアコンセプトである「かわを感じる・かわと親しむ・かわを楽しむ地域の縁側」を実現し、周辺地域や基本構想の他エリアと連携を図ることにより、地域活性化の拠点となることを目指す。
9,768,344		
節別内訳(円)		【実績】 ○戸倉上山田地区かわまちづくり協議会の開催 ・年3回（7月、9月、2月） ・協議会委員 14名 事務局（都市計画課・公民共創推進室）
報酬	88,200	○先進地視察 4回（事務局） ・6月 長野市・小布施町 ・7月 松本市 ・8月 松本市・大町市
給料、職員手当等	4,504,000	○先進地視察 1回（協議会） ・10月 池田町・上田市
報償費		【報酬】 委員報酬（協議会3回）：88,200円
旅費	22,644	【旅費】 委員旅費（協議会3回）：22,644円
需用費		【委託料】 事業名：令和6年度 千曲市かわまちづくり計画書作成業務委託 契約日：令和6年5月10日 履行期間：令和6年5月10日～令和7年3月21日 契約額：5,060,000円 受注者：株式会社 KRC
役務費		【使用料及び賃貸料】 バス借上料（県内先進地視察）：93,500円
委託料	5,060,000	
使用料及び賃借料	93,500	
工事請負費		【成果等】 令和6年度は、協議会及び先進地視察の実施、また千曲川河川事務所との協議を行い、かわまちづくり計画の素案を策定した。
原材料費		
公有財産		
購入費		
備品購入費		【今後の方向性】 令和7年度は、協議会において戸倉上山田地区かわまちづくり計画（案）を策定し、令和7年6月末の応募、8月の登録を目指す。 計画登録後は、令和12年度の供用開始を目標とし、令和8年度から測量設計に着手、順次の整備工事を行う。
負担金、補助及び交付金		
扶助費		
補償、補填及び賠償金		
公課費		
財源内訳(円)		
国庫支出金		
県支出金		
地方債		
その他		
一般財源	9,768,344	
【会計区分】 一般会計		

基本目標6 未来に繋げる自然と共生するまち

事業名	森林環境譲与税事業	担当課名	農林課
-----	-----------	------	-----

事業費	主要な施策の成果等
決算額(円)	【事業目的】 この事業は、県の森林環境譲与税を財源として、減災・防災の観点から、手入れをされていない民有林の人工林を計画的に整備すること（森林経営管理制度）を主な目的とし、広く市民に木材利用の普及拡大のため木製遊具の設置、公共施設等への木材利用を積極的に行う。
15,398,742	
節別内訳(円)	【実績】 森林経営管理制度に伴う測量委託 羽尾・上山田・生萱地区 森林経営管理制度に伴う境界明確化 倉科・羽尾地区 木製宅配ボックス作り・・・14組 28名参加 公共施設窓口仕切木質パネル化 市役所1階
報酬	
給料、職員手当等	
報償費	
旅費	
需用費	
役務費	
委託料	
使用料及び賃借料	
工事請負費	
原材料費	
公有財産購入費	
備品購入費	
負担金、補助及び交付金	9,555,400
扶助費	
補償、補填及び賠償金	
公課費	
財源内訳(円)	【成果等】 森林経営管理制度に伴う、民有林の人工林を所有者に意向調査を行い、測量委託までできたことにより、民有林の整備が整ってきた。 また、木製宅配ボックス作りを企画し、市民に木材の利用普及が図られた。 市役所1階に木製間仕切りをつけることにより広く市民に木材の利用・普及が図られた。
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	
一般財源	15,398,742
【会計区分】	一般会計

基本目標6 未来に繋げる自然と共生するまち

事業名	棚田保全事業	担当課名	農林課
-----	--------	------	-----

事業費		主要な施策の成果等
決算額(円)		【事業目的】 「姨捨の棚田」の保存について、「棚田保全推進会議」などと協議しながら、担い手の確保対策のほか、営農環境と観光振興の両面での充実を図る。
9,154,743		
節別内訳(円)		【実績】
報酬	1,763,790	・棚田保全推進会議の開催 ・棚田貸します制度の実施（面積 22,089 m ² ） 体験コース 77 組 保全コース 14 組
給料、職員手当等	363,081	・遊休地へのヒマワリの栽培の実施 ・姪石苑案内看板修繕 ・耕耘機修繕 ・高温対策米への取組 ・市内小学生対象棚田ウォークラリーの開催
報償費		
旅費	24,000	
需用費	1,796,059	
役務費	28,688	
委託料	4,027,000	
使用料及び賃借料	48,365	
工事請負費		【成果等】
原材料費		・ヒマワリ栽培により遊休地を活用し景観形成ができ、写真撮影などで訪れる人が増えた。 ・老朽化した看板を修繕することにより、良好な景観形成ができた。 ・不具合のあった耕耘機を修繕することにより、棚田保全のための農作業の効率が上がった。 ・近年の猛暑による米の胴割れなどの生育不良改善のため高温対策米の研究を行い、保全団体の協力により令和7年度より2品種の試験栽培を予定。 ・棚田の担い手確保の取組として、次世代を担う千曲市の小学生を対象に事業を開催したところ、棚田の魅力に気づくと共に、保全にも興味を持つてもらうことに繋がった。
公有財産		
購入費		
備品購入費		
負担金、補助及び交付金	1,103,760	
扶助費		
補償、補填及び賠償金		
公課費		
財源内訳(円)		【今後の方向性】
国庫支出金		・国の名勝および重要文化的景観に指定され、また日本遺産「月の都千曲」を構成する文化財の一つとして、市を代表する観光資源である棚田を守るために、姨捨棚田整備計画に基づき、棚田保全のための圃場・農道・水路等の整備や維持管理を適正に行うとともに、引き続き「棚田貸します制度」や、遊休地を活用した事業に取り組んでいく。
県支出金		
地方債		
その他	8,911,050	
一般財源	243,693	
【会計区分】 一般会計		

基本目標6 未来に繋げる自然と共生するまち

事業名	水道事業の広域化・広域連携事業	担当課名	上下水道課
-----	-----------------	------	-------

事業費		主要な施策の成果等
決算額(円)		【事業目的】
14,216,210		○水道事業の経営基盤強化を目指して、上田長野地域水道事業広域化協議会へ派遣している職員と連携し、構成団体（県企業局、長野市、上田市、千曲市、坂城町）との、広域化・広域連携に向けた検討を進める。
節別内訳(円)		【実績】
報酬		○令和6年4月に上田長野地域水道広域化協議会を設置し、事務局に職員を1名派遣した。
給料、職員手当等	14,075,000	○下記のとおり、協議会以下、各協議体において協議を実施。 ・協議会（首長級） 4回 ・幹事会（部局長級） 12回 ・運営会議（課長級） 12回 ・専門部会 47回（総務8回、財務企画10回、施設整備19回、業務運営5回、システム整備4回、全体1回）
報償費		○基本計画(素案)を策定し、議会への意見聴取及び住民への広報・周知・意見聴取（パブリックコメント）を実施した。
旅費		
需用費		
役務費		
委託料		
使用料及び賃借料		
工事請負費		
原材料費		
公有財産		
購入費		
備品購入費		
負担金、補助及び交付金	141,210	【成果等】 ○企業団設立に向けた第一歩となる基本的合意事項をまとめた「基本計画」について、素案にまとめ上げることが出来た。
扶助費		○基本計画(素案)の策定に伴い、住民周知などを行った結果、水道事業の広域化についての市民理解が一定程度高まったと考えられる。
補償、補填及び賠償金		
公課費		
財源内訳(円)		【今後の方向性】
国庫支出金		○今後は、協議会における合意をもって基本計画を素案から案に格上げし、早期の成案化を目指す。
県支出金		○また、各構成団体のおかれた状況を踏まえて、基本計画合意や議会など関係者の理解を得るために、優先的に協議・検討を行う懸案となっている事項が各団体から提示されていることから、これらについて整理しつつ、基本計画や具体的の計画となる事業計画に合意し、可能な限り早期の広域化（企業団設立）を目指す。
地方債		
その他	3,941,000	
一般財源	10,275,210	
【会計区分】特別会計 (特別会計の名称：水道事業会計)		

基本目標7 一人ひとりが輝く協働で創るまち

事業名	公共施設の更新・除却・長寿命化事業	担当課名	財政課
-----	-------------------	------	-----

事業費	主要な施策の成果等
決算額(円) 1,126,000	<p>【事業目的】</p> <p>○千曲市公共施設等総合管理計画及び千曲市公共施設再編計画では、公共施設等の総量を令和26(2044)年度までに13%縮減することを目標としている。</p> <p>また、この目標を達成するための行動計画として、公共施設個別施設計画を施設毎に策定している。</p> <p>これらの計画に対して職員への熟知を図るとともに、効果的な予算配分を行うことにより、公共施設の維持管理にかかる将来の財政的負担の軽減や平準化を図るため。</p>
節別内訳(円)	
報酬	
給料、職員手当等 1,126,000	
報償費	
旅費	
需用費	
役務費	
委託料	
使用料及び賃借料	
工事請負費	
原材料費	
公有財産購入費	
備品購入費	
負担金、補助及び交付金	
扶助費	
補償、補填及び賠償金	
公課費	
財源内訳(円)	<p>【実績】</p> <p>○公共施設個別施設計画の実現性を高めるために、担当者向けの公共施設個別施設計画ローリング作業事務説明会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期日 R6.7.26(金) ・出席者 25名 ・内容 公共施設等総合管理計画の概要、公共施設個別施設計画工程表の改訂（見直し）作業について <p>○個別施設計画の事業費として計上された予算額29億5,000万円に対して、25億7,300万円が執行され、39施設の長寿命化や除却等の事業が行われた。</p> <p>【成果等】</p> <p>○説明会では、公共施設等総合管理計画の策定意義の周知を図ることにより、今後の公共施設の維持管理に関する状況や課題について多くの職員と共有することができた。</p> <p>○計画事業を予算化するにあたり、事業の緊急性や必要性、財源の確保等を担当者と協議しながら見直しを行い、具体的かつ効果的な予算配分をすることができた。</p> <p>○集会施設の譲渡については、各区への説明を継続して行っており、譲渡の有無の判断を決定する区が出始めている。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>○老朽化した施設の損壊または設備の故障が頻発しているため、定期的なメンテナンスや補修等、施設の長寿命化に対する予算措置が困難な状況である。</p> <p>老朽化した施設の更新の際には、単純更新ではなく他施設との複合化や類似施設への機能移転など、費用対効果を最大化できるよう、あらゆる視点で検討を進める。</p> <p>○区が不要と判断した集会施設は、区の使用期間終了後、速やかに除却できるよう実施設計を進める。</p> <p>○令和8年度を譲渡回答期限とする区については、令和7年度中に結論を出せるよう、所管課と連携しながら引き続きサポートをしていく。</p>
【会計区分】 一般会計	

基本目標7 一人ひとりが輝く協働で創るまち

事業名	図書館システム更新事業	担当課名	生涯学習課
-----	-------------	------	-------

事業費		主要な施策の成果等
決算額(円)		【事業目的】
12,308,540		市立図書館において、マイナンバーカードやスマートフォンで図書等の貸出が可能となるシステムを構築し、利用者の利便性向上を図る。
節別内訳(円)		【実績】
報酬		・マイナンバーカード連携登録者 23人
給料、職員手当等	4,504,000	・マイナンバーカードによる貸出利用者 66人
報償費		・スマートフォンバーコードによる貸出利用者 35人
旅費		・年間図書館利用者数 64,459人
需用費		・年間図書等貸出冊数 283,068冊
役務費		
委託料	1,135,200	
使用料及び 賃借料	2,703,180	
工事請負費		【成果等】
原材料費		デジタル田園都市国家構想交付金を活用し、図書館利用における個人認証手段を複数化するための仕組みを導入した。
公有財産 購入費		10月1日から運用を開始し、一定数の利用者はいるものの本事業を推進するには、さらに周知を進める必要がある。
備品購入費	3,966,160	
負担金、補助 及び交付金		
扶助費		【今後の方向性】
補償、補填 及び賠償金		図書館利用カードを忘れて来館してしまった場合でも、他の手段により図書館利用がかなうというメリットを広く周知するため、市の主催事業や読書関連イベント開催時など機を捉えて実演を交えた広報を行い、本事業を推進していく。
公課費		
財源内訳(円)		
国庫支出金	1,955,580	
県支出金		
地方債		
その他		
一般財源	10,352,960	
【会計区分】 一般会計		

基本目標7 一人ひとりが輝く協働で創るまち

事業名	ふるさと千曲市応援寄附金事業	担当課名	ふるさと振興課
-----	----------------	------	---------

事業費	主要な施策の成果等
決算額(円) 175,744,879	【事業目的】 ○市民以外からのふるさと納税(寄附)を受けるための募集、寄附の受付、返礼品の送付等 ○市民等からの寄附の受付
節別内訳(円)	
報酬 4,810,064	
給料、職員手当等 3,941,000	【実績】
報償費 91,121,347	○ 寄附件数 18,971 件 うちガバメントクラウドファンディング 130 件
旅費 154,500	○ 寄附金額 376,310,347 円 うちガバメントクラウドファンディング 2,443,000 円
需用費 32,482	
役務費 3,929,605	○ 主な取組 ・事業者説明会 7,8 月の 2 回に分けて開催 ・新サイトの追加 ・R6. 1 月～ R6 能登半島地震ふるさと納税代理寄附
委託料 69,749,585	【R6 年度分】 寄附件数 11 件 寄附金額 105,000 円
使用料及び 賃借料 1,901,296	
工事請負費	
原材料費	
公有財産 購入費	○ ガバメントクラウドファンディング ・猫の不妊去勢手術費用に対する補助事業 担当課 環境課 寄附件数 60 件 寄附金額 1,023,000 円
備品購入費	
負担金、補助 及び交付金	○ Turkey! ラッピングバス事業 担当課 秘書広報課 寄附件数 70 件 寄附金額 1,420,000 円
扶助費	
補償、補填 及び賠償金	
公課費	
寄附金 105,000	【成果等】
財源内訳(円)	
国庫支出金	○ 寄附件数 前年度 (R5) 対比 80.0% 4,757 件減少
県支出金	○ 寄附金額 前年度 (R5) 対比 86.4% 59,079,846 円減少
地方債	○ 寄附金額引上げ前の駆け込み特需があり、過去最高の寄附額となった令和 5 年度と比較すると、寄附額、件数とも減少した。制度改正に対応するため令和 5 年度の途中から寄附額を引き上げたことや、人気返礼品の生産終了が要因として考えられるが、果物の先行予約の本格的な導入など新規返礼品の追加、新規サイトの追加などにより令和 4 年度並みの寄附額を確保した。
その他	
一般財源 175,744,879	
【会計区分】 一般会計	【今後の方向性】 ○返礼品の供給量確保及び品質向上 ○返礼品の拡充（高価格帯の返礼品の企画等）

事業名	ふるさと千曲市応援寄附金事業	担当課名	ふるさと振興課
-----	----------------	------	---------

	<ul style="list-style-type: none">○プロモーションの強化（効果的な宣伝・広告）○寄附金税額控除に係る申告特例申請（ワンストップ特例申請）のオンライン申請の推進○経費率5割以下を維持するための経費の抑制○地場産品基準の遵守
--	--

基本目標7 一人ひとりが輝く協働で創るまち

事業名	DX推進アドバイザー活用事業	担当課名	情報政策課
-----	----------------	------	-------

事業費		主要な施策の成果等
決算額(円)		【事業目的】
4,899,000		・本市におけるDXの推進に向けて、デジタル技術及び業務効率化に関する専門的知識・ノウハウを持つ民間人材の活用を行うことで、DXに取り組む職員の意識醸成、業務の効率化を図る。
節別内訳(円)		【実績】
報酬		○若手職員向けDX研修の実施 ・昨年度に引き続き、入庁3年目までの若手職員を対象に自治体DXが求められる背景、DXの事例などについて研修を実施。
給料、職員手当等	1,126,000	○生成AI利活用研修の実施 ・各課より選出した職員（情報化リーダー）を対象として、近年利活用が進んでいる生成AIについて、使用時の注意点や活用事例などについて研修を実施。
報償費		○業務効率化・情報化施策に関する支援 ・会議の在り方に関する相談（行政マネジメント室） ・福祉医療事務に関する相談（健康推進課） ・水道料金納入通知書兼領収書の発送に関する相談（上下水道課） ・部活動地域移行に係る事務の効率化に関する相談（教育総務課） ・生成AIの利活用に関する相談（情報政策課） ・通知業務に関するガイドライン策定に関する相談（総務課）
旅費		
需用費		
役務費		
委託料	3,773,000	
使用料及び賃借料		
工事請負費		
原材料費		
公有財産購入費		
備品購入費		
負担金、補助及び交付金		
扶助費		
補償、補填及び賠償金		
公課費		
財源内訳(円)		【成果等】
国庫支出金		・研修を通じ、職員に対してはDXに取り組む重要性を認識すること、また自由に発想し、チャレンジを恐れずに業務改革に取り組む姿勢について意識の醸成を図れた。
県支出金		・昨年度から引き続き研修を実施することで、職員のDXに取り組む意識が醸成され、業務改善の相談を行う職員が増えてきた。
地方債		
その他		
一般財源	4,899,000	
【会計区分】 一般会計		
【今後の方向性】		
・DX推進のためにはDXに取り組む職員の意識改革が必要であるため、引き続き現状に合った研修を通じて仕事の仕方や組織文化・風土の変革に取り組む職員の育成に努める。 ・職員がDXに取り組みやすいよう、庁内での成功事例を紹介・共有し、事例の横展開を進めていく。 ・CIO補佐官等としての外部人材の任用については、令和7年度まで特別交付税措置がされるため、引き続き外部人材の活用を検討する。		

基本目標7 一人ひとりが輝く協働で創るまち

事業名	住民参加型システム「ポリネコ！Chikuma」実施事業	担当課名	秘書広報課
-----	-----------------------------	------	-------

事業費	主要な施策の成果等
決算額(円)	【事業目的】 市民・行政が双方で情報を知り、学び、意思表示する機会を確実なものにするため、”新しい住民参加システム”を活用し、コミュニケーションのDXを目指す。
8,850,080	
節別内訳(円)	【実績】
報酬	
給料、職員手当等	○住民参加型システム「ポリネコ！Chikuma」業務委託料 (委託期間：令和4年5月31日～令和7年3月31日) 7,099,400円(令和6年度分)
報償費	・新規登録者682名、年度末登録者1,460名(昨年度778名)
旅費	・「声の受付箱」：随時市民等からの声を聞き希望により回答をブログに掲載 93件(昨年度61件)
需用費	・「こどもと新世代のためのまちづくり提案」：意見募集(4月下旬～6/2、32件)、その後ワークショップを開催(公民共創推進室主催、8/29りんごの木千曲店、12名参加)
役務費	・市内3中学校への展開：「こども基本法」を学び、意見表明の機会を提供(屋代、戸倉上山田、埴生中学校)
委託料	・市民意識調査の補足：意識調査結果「特に重要と考える施策」について意見等を聞き、ブログで回答(10月、16件)
使用料及び賃借料	○第19回マニュフェスト大賞 研修会及び授賞式 旅費61,680円(職員2名参加) 11月14、15日開催
工事請負費	
原材料費	
公有財産購入費	
備品購入費	【成果等】
負担金、補助及び交付金	・登録者数、声の受付箱への投稿数とともに前年度比で1.5倍以上の増となり、活用が進んできている。
扶助費	・市の取組が外部から高い評価を受けた。
補償、補填及び賠償金	「マニュフェスト大賞 優秀賞を受賞」：子どもたちが「こども基本法」への理解を深め、意思表示ができる新しい対話の仕組みを実現したことが評価された
公課費	「教育DX推進自治体として表彰」：学校での教育DXに積極的に取り組んでいることが評価された
財源内訳(円)	
国庫支出金	
3,549,700	
県支出金	
地方債	
その他	
一般財源	【今後の方向性】
5,300,380	・千曲市「こどもまんなか」宣言の実現に向けて、市内4中学校で継続的に展開していくため、各学校の理解と連携を深める。
	・市政等に対する学ぶ機会の提供に加え、普段届きにくい「市民の声」を広く聞くツールとなるよう、コンテンツの提供と引き続き登録者を増やしていく。
【会計区分】 一般会計	

基本目標7 一人ひとりが輝く協働で創るまち

事業名	地域クラブ活動体制整備事業	担当課名	教育総務課
-----	---------------	------	-------

事業費		主要な施策の成果等
決算額(円)		【事業目的】
26,123,969		・千曲市教育委員会・坂城町教育委員会では、中学校部活動の円滑な地域移行を実現するために、「千曲坂城クラブ」を令和5年3月に設立した
節別内訳(円)		・このクラブは、中学校部活動に代わる「新たなスポーツ・文化芸術環境を構築すること」を目的としており、令和8年度から平日も含めクラブへの完全移行を目指す
報酬	2,395,621	
給料、職員手当等	(0.8人) 4,504,000 465,428	
報償費	14,577,500	
旅費	463,470	
需用費	1,234,370	
役務費		【実績】 (千曲坂城クラブの概要)
委託料		・18の専門部(運動部:13、文化部:5) ・クラブ会員数(生徒):1,067名 ・指導者登録数:244名
使用料及び賃借料	2,118,430	
工事請負費		
原材料費		【成果等】
公有財産購入費		・各専門部で活動の回数(休日に加えて平日も)の差はあるが、すべての専門部で活動を進めることができた
備品購入費		・指導者資質向上のための指導者研修会を指導者の都合のつく時間で受講できるようオンライン実施とした
負担金、補助及び交付金	365,150	・広報活動として、クラブだよりの発行(12回)とホームページの運営管理を行った
扶助費		・運営委員会(3回)、専門部事務局会議(2回)を開催した
補償、補填及び賠償金		・賛助会員(個人・団体)やふるさと納税等により自主財源の確保に努めた
公課費		
財源内訳(円)		【今後の方向性】
国庫支出金	12,767,845	・令和8年度の完全クラブ化へ向けた準備
県支出金		・活動のための安定的な財源確保を目的とした「年会費」「月会費」への理解及び「賛助会員の拡大」やふるさと納税等の財政支援を広く呼びかけていく
地方債		・事務の負担軽減の面から、クラブとしてデジタルツール(連絡事務・集金事務)を整える必要があるため、導入を進めるとともに、その活用を図る
その他	(年会費) 2,347,400 (坂城町) 1,832,076	・各専門部で可能な地域貢献活動の推進
一般財源	9,176,648	
【会計区分】 一般会計		

基本目標7 一人ひとりが輝く協働で創るまち

事業名	男女共同参画推進事業	担当課名	人権・男女共同参画課
-----	------------	------	------------

事業費		主要な施策の成果等
決算額(円)		【事業目的】
3,913,100		「第4次千曲市男女共同参画計画」に定めた三つの基本方針「仕事と生活の調和」「さまざまな分野における女性活躍推進」「心と体を大切にする環境づくりの推進」に基づき、男女共同参画事業に取り組む。
節別内訳(円)		また、審議会等に女性が参画し意見が反映されるよう、目標の女性参画率40%を達成できるよう努め、家庭・地域・社会において男女が互いに認め合い協力し合う、住みよいまちづくりを推進していく。
報酬		
給料、職員手当等	3,378,000	
報償費	161,200	
旅費	42,540	
需用費	95,060	
役務費	0	
委託料	233,000	
使用料及び 賃借料		【実績】
工事請負費		○男女共同参画セミナーの実施（5回） 延べ参加者 342名
原材料費		○地域女性活躍推進セミナー＆マルシェの実施 セミナー参加者 55名 マルシェ参加者 約250名 ＊マルシェ（雨天）は、セミナー終了後、総務課と共に第4回こもれびテラスナイトマルシェに併せて開催
公有財産 購入費		○緊急企画 人材育成セミナー（女性防災リーダー・女性の防災力および災害対応能力向上）の実施（2回） 延べ参加者 90名 ＊防災関連のため、危機管理防災課と共同開催
備品購入費		○市審議会等における女性の公職参画率 33.0%（R6.4.1）
負担金、補助 及び交付金	3,300	
扶助費		【成果等】
補償、補填 及び賠償金		○「男女共同参画・女性活躍推進への意識の向上および満足度向上」 「帰って早速実践してみたい」「知らなかつたことを知れたことで、考え方を変えるきっかけになった」各セミナーで実施しているアンケートの感想。
公課費		○「市審議会等における女性の公職参画率」 担当課への直接依頼訪問により今年度も33%をキープできた。
財源内訳(円)		○「人材育成」 セミナー参加者から審議会の公募委員の登用。
国庫支出金		
県支出金	151,000	
地方債		
その他		
一般財源	3,762,100	
【会計区分】 一般会計		【今後の方向性】
		○引き続き、「第4次千曲市男女共同参画計画」に定めた三つの基本方針を基に、男女とも一人ひとりが思いやりと自立の意識をはぐくみ、個人の尊厳と男女平等の理念を推進する学習機会の充実を図るため、女性のリーダー育成を兼ねたセミナーと位置付け、時代に即した男女共同参画セミナーを実施していく。
		○市審議会等における女性の公職参画率については、目標値

事業名	男女共同参画推進事業	担当課名	人権・男女共同参画課
-----	------------	------	------------

	を達成するため、改選を予定している審議会等の担当課へ呼び掛け等を継続して行い、さらに女性委員の登用を進めしていく。
--	---

基本目標7 一人ひとりが輝く協働で創るまち

事業名	個人番号カード交付事業	担当課名	市民課
-----	-------------	------	-----

事業費		主要な施策の成果等																						
決算額(円)		【事業目的】																						
14,795,000		個人番号カードの普及促進を図るため、カードの申請、交付、広報などを行った。																						
節別内訳(円)		【実績】																						
報酬	5,470,570	○カード保有率 (R7.3.31現在)																						
給料、職員手当等	3,842,193	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>人口</th> <th>保有枚数</th> <th>保有率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>千曲市</td> <td>59,179</td> <td>46,726</td> <td>79.0%</td> </tr> <tr> <td>県19市</td> <td>1,622,644</td> <td>1,246,779</td> <td>76.8%</td> </tr> <tr> <td>長野県</td> <td>2,028,135</td> <td>1,557,398</td> <td>76.8%</td> </tr> <tr> <td>全国</td> <td>124,885,175</td> <td>97,643,567</td> <td>78.2%</td> </tr> </tbody> </table>				人口	保有枚数	保有率	千曲市	59,179	46,726	79.0%	県19市	1,622,644	1,246,779	76.8%	長野県	2,028,135	1,557,398	76.8%	全国	124,885,175	97,643,567	78.2%
	人口	保有枚数	保有率																					
千曲市	59,179	46,726	79.0%																					
県19市	1,622,644	1,246,779	76.8%																					
長野県	2,028,135	1,557,398	76.8%																					
全国	124,885,175	97,643,567	78.2%																					
報償費		* 人口は R6.1.1 現在の住基人口																						
旅費	100,800	* 保有枚数とは交付数から死亡、再交付などを除いた実数																						
需用費	616,233																							
役務費	741,178	○普及促進のための取り組み																						
委託料	3,825,800	<ul style="list-style-type: none"> ・交付臨時窓口の開設 (11/24 (日)) ・交付予約システムを運用し、毎週火曜日と木曜日は 19 時まで市民課窓口を開設 ・高齢者、障害者施設への出張申請 (10月～1月 6 施設) ・マイナ保険証登録支援窓口の開設 (11/10、11/24、12/8) ・市民課窓口へのポスター掲示と行政情報モニターによる広報 ・窓口混雑解消のため、申請書支援システムを試験導入 																						
使用料及び 賃借料	198,226																							
工事請負費		【成果等】																						
原材料費		令和6年12月2日から健康保険証の新規発行が終了となり、健康保険証はマイナ保険証を基本とすることに伴い、カードの交付件数が一時的に増加したが、窓口では大きな混乱もなく対応することができた。																						
公有財産 購入費		令和6年度中の保有率は、前年度から+5%の伸びに留まったが、令和7年3月31日現在では、県19市の中では1位となっている。																						
備品購入費																								
負担金、補助 及び交付金																								
扶助費		【今後の方向性】																						
補償、補填 及び賠償金		令和7年度は、カード交付から5回目の誕生日を迎える方のカード及び電子証明書の更新が増加する。窓口が混雑しないよう、人員配置や臨時窓口の開設など、工夫しながら対応していく必要がある。																						
公課費																								
財源内訳(円)																								
国庫支出金	14,795,000																							
県支出金																								
地方債																								
その他																								
一般財源																								
<p>【会計区分】 一般会計</p>																								

基本目標7 一人ひとりが輝く協働で創るまち

事業名	コンビニ証明書交付事業	担当課名	市民課
-----	-------------	------	-----

事業費		主要な施策の成果等	
決算額(円)		【事業目的】	
13,431,223		市民の利便性を向上させるため、平成29年1月から個人番号カードを利用して、全国のコンビニエンスストアで各種証明書を取得できるサービスを実施しており、本年度もシステムの維持管理と運用を行った。	
節別内訳(円)		【実績】	
報酬		○コンビニ証明書交付手数料	
給料、職員手当等		・市役所窓口より50円割引としている。	
報償費		戸籍謄本・戸籍抄本 400円/通 住民票・印鑑証明・戸籍附票 250円/通	
旅費		○利用できる時間(土・日・祝日含む)	
需用費		・午前6時30分から午後11時まで	
役務費	1,300	○令和6年度利用状況 (前年度比)	
委託料	5,752,121	・戸籍全部事項証明書 1,050通(-52通) ・戸籍個人事項証明書 484通(+86通) ・住民票の写し 6,509通(+647通) ・印鑑登録証明書 5,127通(+326通) ・戸籍附票の写し 203通(+40通)	
使用料及び賃借料	4,949,802	合計 13,373通(+1,047通)	
工事請負費		【成果等】	
原材料費		個人番号カードの普及に伴い、コンビニでの証明書取得が増加している。	
公有財産		○証明書等の全交付数に対するコンビニでの取得率	
購入費		・令和4年度 7,930/67,637 11.7% ・令和5年度 12,326/63,914 19.2% ・令和6年度 13,373/61,860 21.6%	
備品購入費		【今後の方向性】	
負担金、補助及び交付金	2,728,000	コンビニ証明書交付サービスは「書かない窓口」「行かない窓口」を実現するための有効な手段であるため、今後も利用者を増やすための広報に努める。	
扶助費		証明書発行手数は、1件の利用につき117円の委託料を支払っているため、サービスの維持管理費が嵩んでいる。手数料の改定については、県内他市の状況を踏まえて研究する。	
補償、補填及び賠償金		【参考】	
公課費		・コンビニ交付手数料収入 3,573,350円 戸籍謄本・戸籍抄本 400円×1,534通= 613,600円 住民票・印鑑証明・戸籍附票 250円×11,839通= 2,959,750円 ・交付委託料 1,564,641円 (117円×13,373通) ・純収入 2,008,709円 (3,573,350円-1,564,641円)	
財源内訳(円)		【会計区分】 一般会計	
国庫支出金			
県支出金			
地方債			
その他	3,573,350		
一般財源	9,857,873		

基本目標7 一人ひとりが輝く協働で創るまち

事業名	上山田戸倉出張所窓口業務	担当課名	市民課上山田戸倉出張所
-----	--------------	------	-------------

事業費	主要な施策の成果等																																																																																										
<table border="1"> <tr> <td>決算額(円)</td> <td>8,259,940</td> </tr> <tr> <td>節別内訳(円)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>報酬</td> <td>1,881,000</td> </tr> <tr> <td>給料、職員手当等</td> <td>6,013,126</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>72,789</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>106,289</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>177,936</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原材料費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>公有財産購入費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>扶助費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補償、補填及び賠償金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>公課費</td> <td>8,800</td> </tr> </table>	決算額(円)	8,259,940	節別内訳(円)		報酬	1,881,000	給料、職員手当等	6,013,126	報償費		旅費		需用費	72,789	役務費	106,289	委託料		使用料及び賃借料	177,936	工事請負費		原材料費		公有財産購入費		備品購入費		負担金、補助及び交付金		扶助費		補償、補填及び賠償金		公課費	8,800	<p>【事業目的】 ○上山田戸倉地域の市民サービス向上のため、令和3年4月に開設されました。 各種証明書の交付、マイナンバー関連業務、各種行政相談業務、関係各課への文書の取次などの窓口業務を行っています。</p> <p>【実績】 ○取扱い件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>件数</th> <th>1日平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R6.4月</td> <td>278</td> <td>13.2</td> </tr> <tr> <td>5月</td> <td>267</td> <td>12.7</td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>419</td> <td>21.0</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>362</td> <td>16.5</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>251</td> <td>12.0</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>330</td> <td>17.4</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>371</td> <td>16.9</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>334</td> <td>16.7</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>310</td> <td>15.5</td> </tr> <tr> <td>R7.1月</td> <td>325</td> <td>17.1</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>368</td> <td>20.4</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>426</td> <td>21.3</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>4,041</td> <td>17.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>○地区別</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地区</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>更埴</td> <td>91</td> </tr> <tr> <td>戸倉</td> <td>662</td> </tr> <tr> <td>上山田</td> <td>3,029</td> </tr> <tr> <td>市外</td> <td>259</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>4,041</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果等】 ○来庁者からの評価としては、「出張所が近くにあり用件が済んだことは、とても助かる」といった感謝されることが多い。特に証明発行、取次業務についてその声が多い。 ○地元自治会関係者からは、「関係各課への提出書類等の取次や公共ゴミ袋、塩カル等の受渡し」など利便性が図られている。</p> <p>【今後の方向性】 ○当面の間は、現状の取扱い業務を維持継続していくことが想定される。現行の職員体制（2名=職員1名、会計年度任用職員1名）の中で法令等を遵守し、工夫をしながら地域住民のニーズに対応していきたい。</p>	月	件数	1日平均	R6.4月	278	13.2	5月	267	12.7	6月	419	21.0	7月	362	16.5	8月	251	12.0	9月	330	17.4	10月	371	16.9	11月	334	16.7	12月	310	15.5	R7.1月	325	17.1	2月	368	20.4	3月	426	21.3	合計	4,041	17.0	地区	件数	更埴	91	戸倉	662	上山田	3,029	市外	259	合計	4,041
決算額(円)	8,259,940																																																																																										
節別内訳(円)																																																																																											
報酬	1,881,000																																																																																										
給料、職員手当等	6,013,126																																																																																										
報償費																																																																																											
旅費																																																																																											
需用費	72,789																																																																																										
役務費	106,289																																																																																										
委託料																																																																																											
使用料及び賃借料	177,936																																																																																										
工事請負費																																																																																											
原材料費																																																																																											
公有財産購入費																																																																																											
備品購入費																																																																																											
負担金、補助及び交付金																																																																																											
扶助費																																																																																											
補償、補填及び賠償金																																																																																											
公課費	8,800																																																																																										
月	件数	1日平均																																																																																									
R6.4月	278	13.2																																																																																									
5月	267	12.7																																																																																									
6月	419	21.0																																																																																									
7月	362	16.5																																																																																									
8月	251	12.0																																																																																									
9月	330	17.4																																																																																									
10月	371	16.9																																																																																									
11月	334	16.7																																																																																									
12月	310	15.5																																																																																									
R7.1月	325	17.1																																																																																									
2月	368	20.4																																																																																									
3月	426	21.3																																																																																									
合計	4,041	17.0																																																																																									
地区	件数																																																																																										
更埴	91																																																																																										
戸倉	662																																																																																										
上山田	3,029																																																																																										
市外	259																																																																																										
合計	4,041																																																																																										
財源内訳(円)																																																																																											
<table border="1"> <tr> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>8,259,940</td> </tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	8,259,940																																																																																	
国庫支出金																																																																																											
県支出金																																																																																											
地方債																																																																																											
その他																																																																																											
一般財源	8,259,940																																																																																										
【会計区分】 一般会計																																																																																											